

# 3

# 運 転 す る と き

## スイッチの使いかた

エンジンスイッチ	3-2
ライティングスイッチ	3-8
ヘッドランプレベラー（光軸調整機構）	3-11
方向指示レバー	3-13
フォグランプスイッチ	3-13
ワイパー&ウォッシャースイッチ	3-15
ヘッドランプウォッシャー	3-20
リヤウインドウデフォグガー（曇り取り）	3-21
フロントワイパーデアイサー	3-23
非常点滅灯（ハザードランプ）スイッチ	3-24
ホーンスイッチ	3-24
イルミネーションコントロールダイヤル	3-25

## コンビネーションメーター

メーター	3-27
表示灯	3-31
警告灯	3-35

## 運転装置の使いかた

エンジンの始動と停止のしかた（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車）	3-43
エンジンの始動と停止のしかた（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外）	3-49
駐車ブレーキ	3-51

## マニュアル車の運転

チェンジレバー	3-52
---------	------

## CVT車の運転

セレクトレバー	3-54
運転手順	3-58
マニュアルモード	3-63
Lレンジ	3-65
[S]モード	3-65

## アイドリングストップ

アイドリングストップ	3-66
------------	------

## クルーズコントロール

クルーズコントロール	3-73
------------	------

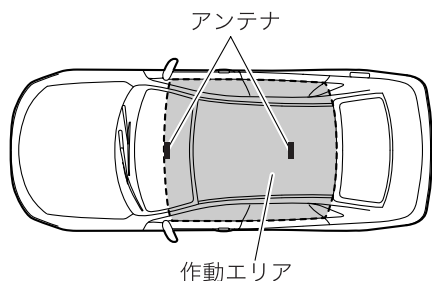
# スイッチの使いかた

## エンジンスイッチ

### ■キーレスアクセス&プッシュスタート装備車

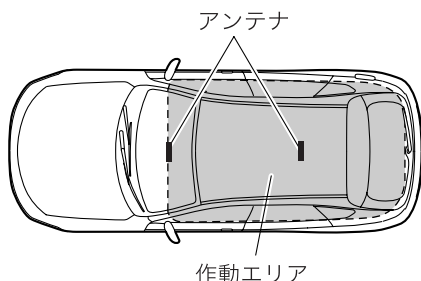
#### ●エンジン始動の作動エリア

<4ドア>



202074

<5ドア>



202075



### アドバイス

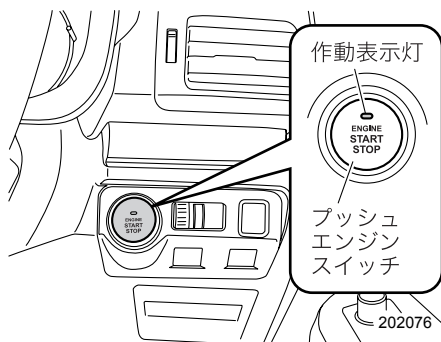
- 車内アンテナの作動エリア内でアクセスキーが検知されない場合、電源切り替えおよびエンジン始動はできません。
- 車外にアクセスキーがある場合でも、ガラス周辺に近づきすぎたときはエンジンを始動できることがあります。
- アクセスキーをトランクに置いた場合、電源切り替えやエンジン始動はできません。ただし、アクセスキーの置場や周囲の条件によっては始動できることがあります。
- アクセスキーを次の場所に置かないでください。電源の切り替えやエンジンを始動できないことがあります。
  - ー インストルメントパネル上
  - ー フロア上
  - ー グローブボックス内
  - ー ドアトリムのポケット
  - ー リヤシート
  - ー リヤシェルフ (4ドア)
  - ー カーゴルームの隅 (5ドア)
- アクセスキーが電池切れの場合は、「アクセスキーが正常に作動しないときのエンジン始動」の方法でエンジンを始動してください。その後、すみやかに電池を交換してください。

☆7-20、8-73ページ参照

## ●電源の切り替えかた

プッシュエンジンスイッチを押すごとに、電源が切り替わります。

- ① アクセスキーを携帯し、運転席に座ります。
- ② CVT 車はセレクタレバーが **P** であること、マニュアル車はニュートラルであることを確認します。
- ③ CVT 車はブレーキペダル、マニュアル車はクラッチペダルを踏まずにプッシュエンジンスイッチを押します。押すごとに電源が OFF→ACC→ON→OFF の順に切り替わります。エンジン停止時、プッシュエンジンスイッチが ACC または ON のときはプッシュエンジンスイッチ内の作動表示灯が橙色に点灯します。



電源の状態	作動表示灯の色	各作動の動き
OFF	消灯	電源が切れる
ACC	橙色	次の電装品が使用できる オーディオ、電源ソケットなど
ON	橙色(エンジン停止)	全ての電装品が使用できる
	消灯(エンジン回転中)	



### アドバイス

- プッシュエンジンスイッチを操作するときは、奥まで確実に押してください。
- プッシュエンジンスイッチを早押しした場合、電源が切り替わらないことがあります。

## ●ステアリングロックの解除

プッシュエンジンスイッチを押したとき、スイッチ内の作動表示灯が緑色に点滅している場合は、ステアリングロックが解除されていません。

解除するには、ハンドルを左右に動かしながらブレーキペダルを踏み、プッシュエンジンスイッチを押します。



### アドバイス

バッテリーが上がるとステアリングロックが解除できません。バッテリーを充電してください。

## ▼ステアリングロックの初期化

バッテリー上がりおよびバッテリー交換後はステアリングロックシステムの初期化を行わないとエンジンが始動できない場合があります。

- ① マニュアル車はチェンジレバーをニュートラルの位置に、CVT車はセレクトレバーを[P]にします。
- ② エンジンスイッチをOFFにして運転席ドアを開閉し、約10秒間保持します。システムが初期化され、ステアリングがロックします。

## ●バッテリー上がり防止機能

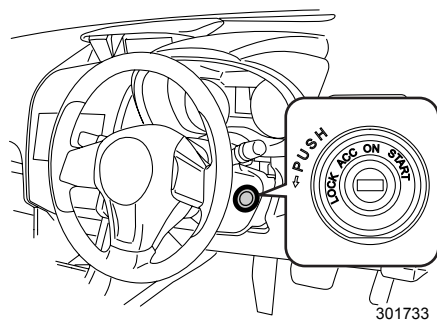
セレクトレバーが[P]のとき、ACCまたはONにした状態で約1時間放置するとバッテリー上がり防止のため自動的に電源がOFFになります。



### 注意

- 電源がONまたはACCのまま長時間放置すると、車両のバッテリー上がりの原因となります。
- CVT車はセレクトレバーが[P]以外では電源をOFFにすることはできません。
- プッシュエンジンスイッチに飲料水などをこぼさないでください。故障の原因となります。
- プッシュエンジンスイッチを油などの付いた手で触れないでください。故障の原因となります。
- プッシュエンジンスイッチの作動に引っかかりがあるときは、プッシュエンジンスイッチを操作せず、すみやかにスバル販売店に連絡してください。
- 車幅灯を点灯してもプッシュエンジンスイッチ照明が点灯しないときは、スバル販売店で点検を受けてください。
- 炎天下で長時間車両を放置すると、プッシュエンジンスイッチの表面が熱くなる場合があります。やけどしないようご注意ください。

## ■キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外



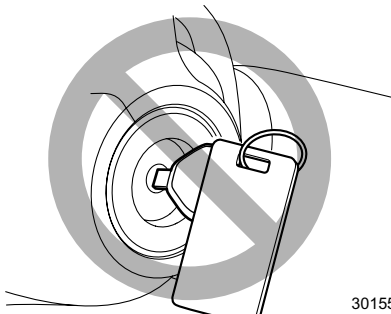
LOCK (ロック)	キーの抜き差しができる位置 キーを抜くとハンドルがロックされます
PUSH (プッシュ)	電源が切れる位置 LOCKへ回転させるときはキーを押し込みます
ACC (アクセサリ)	エンジン停止時、次の電装品が使用できる位置 オーディオ、電源ソケットなど
ON (オン)	全ての電装品が使用できる位置 エンジン始動後はこの位置になります
START (スタート)	エンジンを始動する位置

運転するとき

### ⚠ 注意

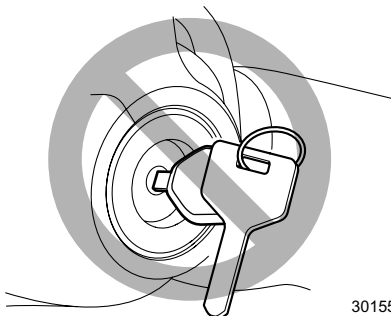
- キーグリップにキーホルダーや他のキーがかさなると、膝や手などが当たり、キーを回してしまうおそれがありますので注意してください。  
大型のキーホルダーはキーに付けしないでください。テコの原理で小さな力でも回してしまうおそれがあります。
- キーホルダーや他のキーを多数付けしないでください。また、重い物をキーに付けしないでください。車両の動きにより遠心力が働き、キーを回してしまうおそれがあります。

キーグリップにキーホルダーやアクセサリがかさなっているとき



301555

キーグリップに他のキーがかさなっているとき



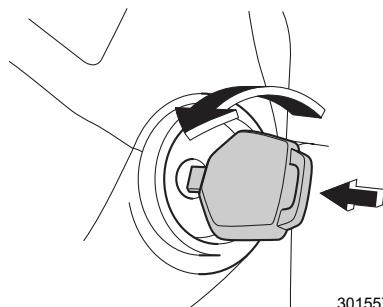
301556

### 🏠 アドバイス

- エンジンを止めているときは、スイッチをLOCKにしてください。
- 長時間ONにしたり、ACCにして電装品を使うとバッテリー上がりの原因になります。
- キーが LOCK から ACC に回らないときはハンドルを左右に回しながらキーを操作してください。

## ●キーを抜くとき

- ① CVT車は、セレクトレバーを[P]にします。
- ② ACC の位置からキーを押し込みながら LOCK に回します。



301557

## ●キー抜き忘れ警報

キーをエンジンスイッチに差したまま運転席ドアを開けるとブザーが鳴ります。ただし、エンジンスイッチがONのときは鳴りません。



### アドバイス

車外に出るときには、必ずキーを持っていることを確認して施錠してください。

運転するとき

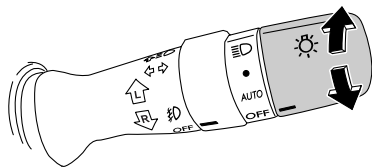
## ●エンジンキー照明（イグニッションキー照明）

エンジンスイッチの周辺が点灯します。

運転席のドアを開けたとき点灯し、閉めた後も一定時間点灯し、その後徐々に消灯していきます。

## ライティングスイッチ

エンジンスイッチがONのとき、スイッチを回すと次のようにランプが点灯します。



301734

スイッチの位置	ヘッドランプ	車幅灯、尾灯、番号表示灯
☉	点灯	
●	消灯	点灯
AUTO	自動点灯または消灯	自動点灯または消灯
OFF	消灯	

ランプ類が点灯しているときに、以下の操作を行うと自動的にランプ類は消灯します。

- プッシュエンジンスイッチを押して電源をOFFにしたとき（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車）
- キーを抜いたとき（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外）

自動的に消灯した場合、プッシュエンジンスイッチを押す、もしくはキーを差すと、ランプが再び点灯します。AUTO位置のときは周囲の明るさに応じて点灯します。

### ⚠ 注意

エンジン停止中はランプ類を長時間点灯させないでください。また、車から離れるときは、必ずライティングスイッチをOFFにしてください。バッテリー上がりの原因となります。

### 🏠 アドバイス

自動消灯後、電源がOFF、またはキーを抜いた状態のときにライティングスイッチをOFFにしてから再度●または☉にすると、ランプが点灯します。



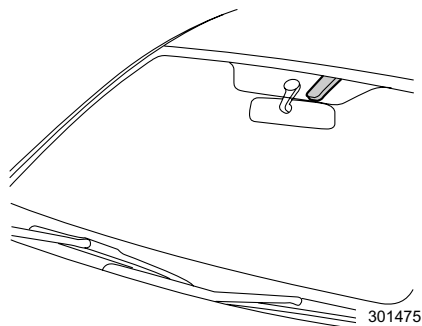
## ■オートライト

オートライトセンサーは、フロントガラス上部にあります。

エンジンスイッチがONのとき、ライティングスイッチをAUTOの位置にすると、周囲の明るさに応じて各ランプが点灯または消灯します。

車外が暗くなると、まず車幅灯、尾灯、番号表示灯が自動的に点灯します。さらに暗くなるとヘッドランプが点灯します。車外が明るくなると、逆の順に消灯します。

ランプ類が点灯したとき、メーター内のライティングスイッチ表示灯が点灯します。



## ●オートライトの自動点灯・消灯感度のカスタマイズ

オートライトの自動点灯および消灯の感度を、4段階で設定することができます。

☆1-2ページ参照



### アドバイス

オートライト装備車は、次のような特徴があります。

- センサーをふさぐようなものをフロントガラス上部に貼ると、正常に作動しない場合があります。
- 昼間に濃い霧などが発生して視界が悪いときでも、自動で点灯しない場合があります。このときは手動で点灯してください。
- スイッチがAUTOの場合、連続したトンネルの出口と入口の間隔が短いときはランプが点灯し続けます。
- スイッチがAUTOの場合でも短いトンネルでは点灯しません。
- エンジンスイッチがONでライティングスイッチがAUTOのとき、システムに異常があると、周囲が明るい場合でもランプ類が点灯します。この場合はライティングスイッチをAUTO以外にする、またはエンジンスイッチをOFF (LOCK) にするとランプ類が消灯します。すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。
- 強い電磁波などにより誤作動することがあります。

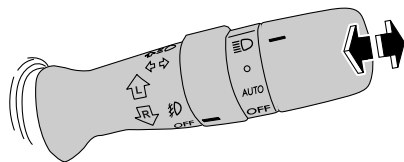
## ■ランプ消し忘れ警報

エンジンスイッチの電源がOFF、またはキーを抜いた状態でランプ類が点灯しているときに、運転席ドアを開けるとブザーが鳴ります。

## ■ヘッドランプの上下を切り替えるとき

ヘッドランプが点灯しているとき、レバーを前に押しと上向きになります。上向き点灯中はメーター内のハイビーム/パッシング表示灯が点灯します。

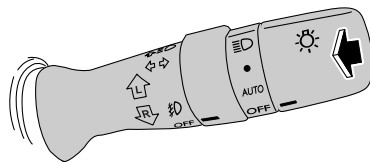
レバーを元に戻すと下向きになります。



302294

## ■合図のしかた (パッシング)

レバーを手前に引くとヘッドランプは上向きになります。上向き点灯中はメーター内のハイビーム/パッシング表示灯が点灯します。ライティングスイッチがOFFでも使えます。



301736



### アドバイス

自動的にランプ類が消灯した場合、ハイビーム/パッシング表示灯は点灯しません。

## ヘッドランプレベラー（光軸調整機構）

### ■オートヘッドランプレベラー

ヘッドランプにHID（高輝度放電）ランプが装備されている車には、自動光軸調整機構がついています。

ヘッドランプの照射方向が正しく調整されていないと、対向車や前を走る車の迷惑になります。そのため、同乗者および積載量から自動的に照射方向を調整し、最適に保ちます。

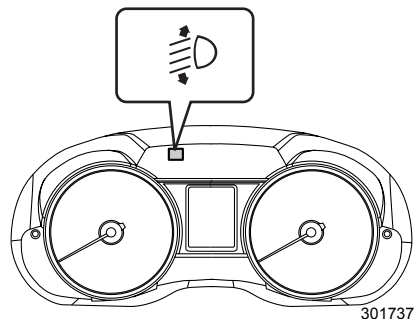
#### 警告

HIDバルブは、高電圧を使用しています。感電防止のため、ランプを分解したり、改造したりしないでください。バルブの脱着、交換はスバル販売店にご相談ください。

### ●オートヘッドランプレベラー警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、約3秒後に消灯します。

エンジン回転中、オートヘッドランプレベラー（自動光軸調整機構）の電子制御システムに異常があると点灯します。



301737

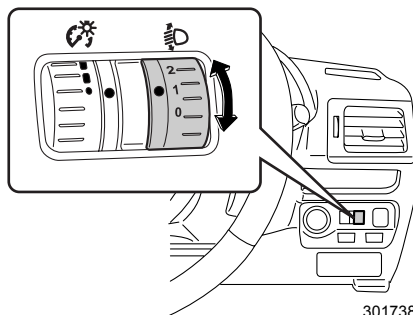
#### 注意

オートヘッドランプレベラー警告灯が点灯したときは、照射方向の自動調整が行われない場合があります。直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

## ■ マニュアルヘッドランプレベラー

ヘッドランプにハロゲンランプが装備されている車には、光軸調整ダイヤルがついています。ヘッドランプの下向き点灯時に使います。エンジンスイッチがONのとき使用できます。

- 同乗者および積載量によってヘッドランプが上向きを照らすことがあります。このようなとき、対向車の運転の妨げになるため、光軸調整ダイヤルを調整し、ヘッドランプが照らす向きを下側にしてください。
- ダイヤルの目盛りが大きくなるほどヘッドランプが照らす向きは下側になります。



301738

- 乗車人数、荷室への積載状態に応じて、下の表を参考にダイヤル位置を調整してください。

ダイヤル位置	前席乗車人数	後席乗車人数	荷室への積載
0	1名もしくは2名	0名	無
1	2名	3名	無
2	2名	3名	有※
3	1名	0名	有※
4	—	—	—
5	—	—	—

※荷室満載にした場合

### 🏠 アドバイス

- ヘッドランプの照射方向が正しく調整されていないと、対向車や前を走る車に迷惑をかけることになります。対向車のフロントガラスや前を走る車のミラーを照らしているときは、光軸調整ダイヤルを操作してヘッドランプを下向きに調整してください。
- ハロゲンヘッドランプの光軸調整をするときは、光軸調整ダイヤルを「0」の位置にしてから行ってください。

## 方向指示レバー

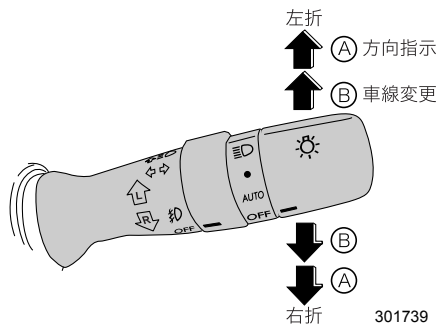
エンジンスイッチがONのとき、レバーを①の位置まで動かすと方向指示器とメーター内の表示灯  $\leftarrow \rightarrow$  が点滅します。

右折あるいは左折後、ハンドルを戻すと自動的に戻りますが、戻らないときは手で戻してください。

車線変更の合図をするときは、②の位置で軽く押さえていると方向指示器とメーター内の表示灯が点滅します。

手を離すと元の位置に戻ります。

☆3-26ページ参照



### アドバイス

方向指示器の電球が切れたとき、またワット数の異なった電球を使用すると点滅が速くなります。

すみやかに点検し、電球を交換してください。

☆8-50ページ参照

運転するとき

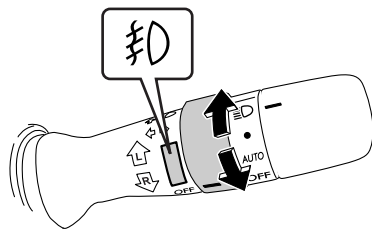
## フォグランプスイッチ

郊外や山間部での濃霧などで見通しが悪いときに使用してください。

### ■フロントフォグランプスイッチ

ライティングスイッチが●または  $\equiv D$  のとき (AUTOの場合、メーター内のライティングスイッチ表示灯  $\equiv D$  が点灯しているとき)、スイッチを  $\equiv D$  の位置まで回すとフロントフォグランプが点灯します。

フロントフォグランプ点灯中はメーター内のフロントフォグランプ表示灯が点灯します。



302252

### 🏠 アドバイス

フロントフォグランプはヘッドランプの代わりにはなりません。また、使用方法を誤ると、まわりの車や対向車へ迷惑をかけることになります。郊外や山間部での濃霧などで見通しが悪いときだけ使用してください。

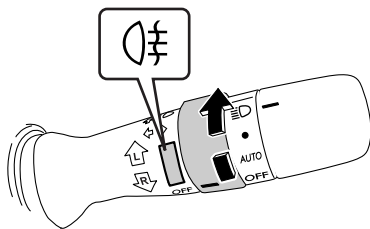
## ■ リヤフォグランプスイッチ 🚗

フロントフォグランプが点灯しているとき、スイッチを (🚗) の位置まで回すとリヤフォグランプが点灯します。

リヤフォグランプ点灯中は、メーター内のリヤフォグランプ表示灯が点灯します。

手を離すと、スイッチは自動で戻ります。

リヤフォグランプを消灯させる場合は、もう一度スイッチを (🚗) の位置まで回してください。



302253

### 🏠 アドバイス

- リヤフォグランプは使用方法を誤ると、後続車へ迷惑をかけることになります。郊外や山間部での濃霧などで見通しが悪く、後続車に自分の位置を知らせる必要があるときにだけ使用してください。
- リヤフォグランプの消し忘れ防止のため、次の操作を行うとリヤフォグランプが消灯します。
  - ー エンジンスイッチをOFFにしたとき
  - ー ライティングスイッチをOFFにしたとき
  - ー フロントフォグランプスイッチをOFFにしたとき再度リヤフォグランプを点灯させるには、フォグランプスイッチを (🚗) の位置まで回してください。

## ワイパー&ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチがONのときに使用できます。

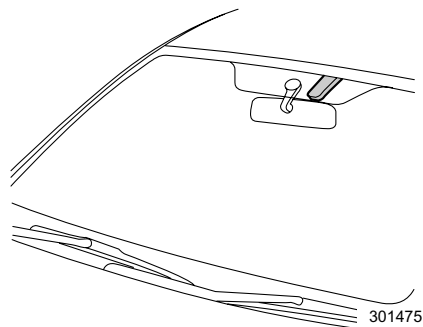
### ■フロントワイパーの作動

レバーを押し上げる、または押し下げることによって、ワイパーが作動します。

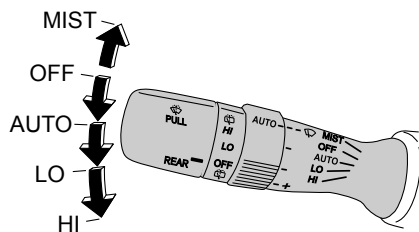
### ●オートワイパー装備車

雨滴感知センサーは、フロントガラス上部にあります。雨滴量に応じてワイパーの作動を自動調整します。

ワイパーを使用しない場合は、スイッチをOFFにしてください。



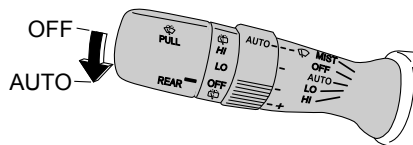
MIST	手動で作動
OFF	停止
AUTO	雨滴量により自動作動
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動



### ▼オート作動

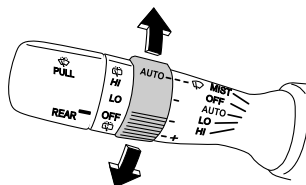
レバーを1段押し下げます。(AUTO位置)  
雨滴量に応じて、次のようにワイパーが作動します。

雨滴量	作動状態
なし	停止
少量	間欠作動 (車速に応じて変わります)
普通	低速連続作動
多量	高速連続作動



リングを回すと、雨滴量に反応するセンサーの感度を次のように調整できます。

リング位置	感度
－側	低
＋側	高



301743

### ▼オートワイパーのカスタマイズ

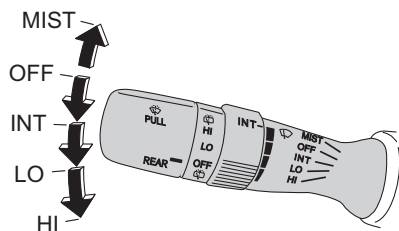
オートワイパーのAUTO/間欠作動の設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照

カスタマイズで間欠作動設定時、リングを回すと間欠作動の間隔を調整できます。

### ●間欠ワイパー装備車（オートワイパー装備車以外）☞

MIST	手動で作動
OFF	停止
INT	間欠作動
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動



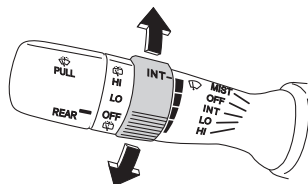
301744

### ▼間欠作動の間隔調整

レバーを1段押し下げます。(INT位置)

リングを回すと、間欠作動の間隔を次のように調整できます。

リング位置	作動間隔
上側	長
下側	短

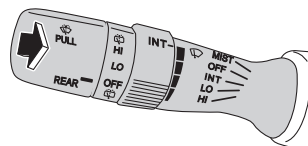


301745



## ●フロントウォッシャー

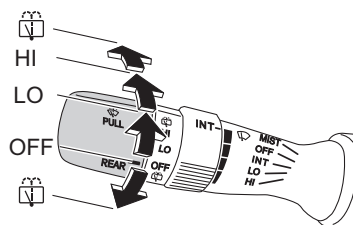
スイッチを手前に引いている間、ウォッシャー液が噴射します。このとき、ワイパーが1～2回転します。



301746



## ■リヤワイパー／ウォッシャーの作動

スイッチを回すと作動します。



301747

運転するとき

 (上側)	連続作動中にウォッシャー液が噴射します。 手を離すとHIに戻ります。
HI	連続作動
LO	間欠（低速）作動 （車速に応じて変わります）
OFF	停止
 (下側)	ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが動きます。 手を離すとOFFに戻ります。

## 注意

- ガラスが乾いているときにはワイパーを操作しないでください。ガラスに傷をつけることがあります。また、ワイパーブレードに傷がつき、拭き残しの原因となります。

オートワイパー装備車は、次のことに注意してください。

- エンジンスイッチがONでワイパースイッチがAUTOのとき、センサー周辺のフロントガラスに触れたり、水などを含んだ布を近づけないでください。洗車する場合は必ずスイッチをOFFにしてください。ワイパーが作動し、思わぬけがをするおそれがあります。
- 自動洗車機を使用する場合、必ずスイッチをOFFにしてください。ワイパーが作動し、上面ブラシに引っかかりワイパーなどが損傷するおそれがあります。

## アドバイス

- ガラスに拭き残しができるときにはワイパーブレードのラバーを交換してください。

☆7-13ページ参照

- 寒冷地で屋外に駐車するときにはワイパーを立てておいてください。ワイパーブレードがガラスに凍りつくことを防止するためにワイパーアームを起こすときは、運転席側を先に起こしてから助手席側を起こしてください。戻すときは、助手席側のワイパーアームを先に戻してから運転席側のワイパーアームを戻してください。手順を間違えた場合、ワイパーアームが損傷する原因となります。
- ワイパーブレードがガラスに凍りついたときは、ぬるま湯をかけるか、以下の操作を行いガラスを暖めてください。
  - ー フロントガラスは、デフロスタースイッチを押すか、フロントワイパーデアイサー（装備車のみ）を使用してください。
  - ー リヤガラスは、リヤウインドウデフォグガーを使用してください。

☆3-21、3-23ページ参照

- 積雪などにより、ワイパーが途中で止まったときは、車を安全な場所に止めてワイパースイッチをOFF、エンジンスイッチをACCまたはLOCK（OFF）にし、ワイパーが作動できるように積雪などの障害物を取り除いてください。
- フロントワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。モーターの負担が大きい状況が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まる場合があります。その場合には、車を安全な場所に止めて、一度ワイパースイッチをOFFにしてください。10分ほどするとブレーカーが復帰して通常使用できるようになります。

- フロントウォッシャーノズルの噴出範囲の調整はスバル販売店にご相談ください。
- ウォッシャー液が出ないとき、ウォッシャースイッチを押し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。ゴミがつまるなど、ウォッシャー液が噴射できないときは、最寄りのスバル販売店にご連絡ください。

オートワイパー（装備車のみ）には、次のような特徴があります。

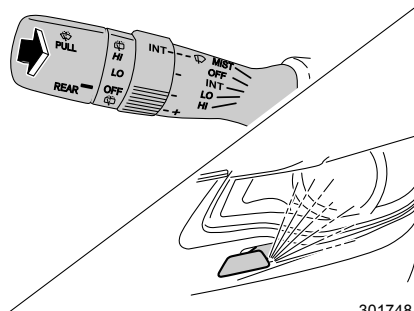
- エンジンスイッチがONのとき、ワイパースイッチをAUTOにすると、作動確認のためワイパーが1回作動します。
- センサーまたはフロントガラスに振動があったり、虫や泥などの汚れが付着した場合は、ワイパーが作動することがあります。降雨時以外はスイッチをOFFにしてください。
- 雨滴または雪が降っていてもセンサーが感知しない場合、ワイパーは作動しません。その場合は、スイッチをLOまたはHIに切り替えてください。
- 次の場合はセンサーが雨滴量を正確に感知できず、ワイパーが正常に作動しない場合があります。
  - － フロントガラスには水コーティングをしたとき
  - － フロントガラス上部が汚れているとき
  - － フロントガラス上部が氷結しているとき
- 車速に感応する間欠作動ワイパーが装備されています。停車中の作動間隔は、次のようになります。
  - － フロントワイパー：走行中に比べ長くなります。
  - － リヤワイパー：セダンは走行中に比べ短くなり、ワゴンは走行中に比べ長くなります。
- 雨滴量に変化しているときでもワイパーが一定間隔で作動している場合、雨滴感知センサーが故障しているおそれがあります。このようなときはワイパースイッチを手動で切り換えてください。オートワイパーの故障が考えられますので、直ちにスバル販売店で点検を受けてください。
- 外気温が $-15^{\circ}\text{C}$ 以下の場合、降雪での使用を想定し、ワイパースイッチがAUTOでもワイパーが作動しないことがあります。その場合はスイッチをLOまたはHIに切り替えてワイパーを使用してください。外気温が $-10^{\circ}\text{C}$ 以上になるとAUTO作動が使用可能な状態に戻ります。
- センサー周囲温度が $80^{\circ}\text{C}$ 以上の場合、正しく雨滴を感知できないため、ワイパースイッチがAUTOでもワイパーが作動しないことがあります。その場合はスイッチをLOまたはHIに切り替えてワイパーを使用してください。
- 強い電磁波により誤作動することがあります。

## ヘッドランプウォッシャー

エンジンスイッチがONのとき使用できます。  
ヘッドランプが汚れたときに使用します。

次の場合、フロントウォッシャーのスイッチを1秒以上手前に引くと、フロントウォッシャーと連動して作動します。ヘッドランプウォッシャーは約1秒間作動し、停止します。

- ライティングスイッチが $\text{III}$ のとき
- ライティングスイッチがAUTOでヘッドランプが点灯しているとき（オートライト装備車）



301748

### アドバイス

- ウォッシャー液が出ないとき、ウォッシャースイッチを手前に引き続けると、ポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
- ゴミがつまるなど、ウォッシャー液が噴射できないときは、最寄りのスバル販売店にご連絡ください。

## リヤウインドウデフォグー（曇り取り）

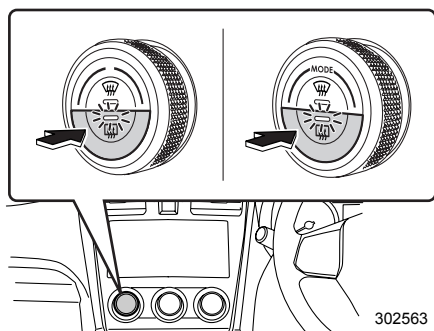
エンジンスイッチがONのとき使用できます。スイッチはエアコンの操作パネルの中にあります。リヤガラスの内側が曇ったときに使用します。

電熱線はリヤガラスにプリントしてあります。

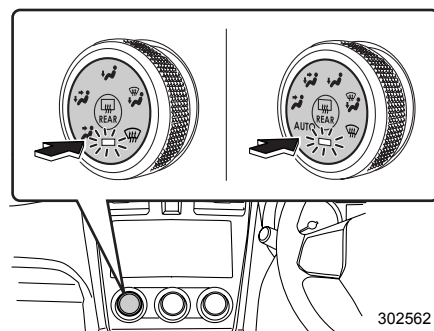
### ■使いかた

スイッチを押すと、スイッチ内の表示灯が点灯し、約15分後、自動的にOFFになります。作動中、途中で止めるときは、スイッチをもう一度押します（表示灯が消灯）。

#### マルチファンクション ディスプレイ装備車



#### マルチファンクション ディスプレイ装備車以外



## ●リヤウインドウデフォグーのカスタマイズ

リヤウインドウデフォグーを15分作動/連続作動に設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照



### アドバイス

- マルチファンクションディスプレイ装備車は、お客様自身の操作で設定を変更することができます。

☆4-69ページ参照

- 消費電力が大きいため長時間使うことや雪を溶かすような使いかたは避けてください。
- ガラス内側の清掃時、電熱線を切らないように水を含ませた柔らかい布で電熱線に沿って軽く拭いてください。ガラスクリーナー、洗剤は使わないでください。
- ヒートッドアミラー装備車は、リヤウインドウデフォグースイッチを押すと、ヒートッドアミラーも連動して作動します。

☆2-88ページ参照

- フロントワイパーデアイサー装備車は、リヤウインドウデフォグースイッチを押すと、フロントワイパーデアイサーも同時に作動します。

☆3-23ページ参照

- 連続作動は15分間作動し、2分間停止し、再度15分間作動を繰り返します。ただし、2分間の作動停止中も表示灯は点灯しています。
- 連続作動中にバッテリー電圧が低下すると連続作動は停止します。また、2分間の停止中にバッテリー電圧が低下したときも作動が停止します。

## フロントワイパーデアイサー

エンジンスイッチがONのとき使用できます。リヤウインドウデフォグガーと同時に作動します。

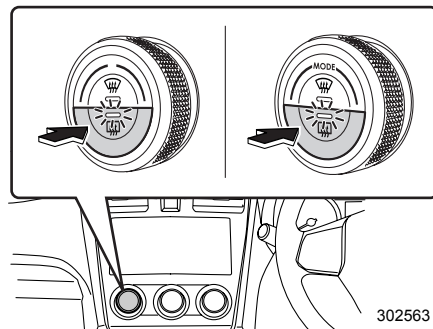
☆3-21ページ参照

フロントワイパーがガラスに凍結しているとき、ガラスを温めてワイパーが作動できるようにします。

電熱線はフロントガラスの下部にプリントしてあります。

### ■使いかた

スイッチを押すとスイッチ内の表示灯が点灯し、フロントガラスの下側が暖められます。約15分後、自動的にOFFになります。作動中、途中で止めるときは、スイッチをもう一度押します（表示灯が消灯）。



302563

運転するとき

### ●フロントワイパーデアイサーのカスタマイズ

リヤウインドウデフォグガーのカスタマイズに連動し、15分作動/連続作動に設定を変更することができます。

☆1-2ページ参照

#### 🏠 アドバイス

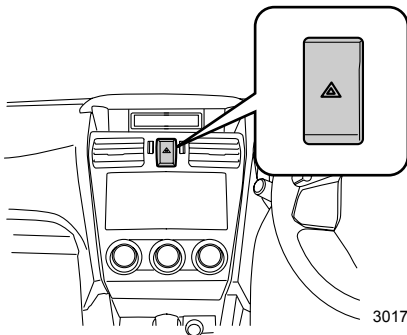
- 外気温度が5°C以上のとき、フロントワイパーデアイサーは作動しません。
- ワイパーデアイサーは消費電力が大きいので必要なとき以外はスイッチを切ってください。長時間使い続けると、バッテリー上がりの原因になります。
- 物が電熱線に当たらないように気をつけてください。
- 連続作動に設定していても、下記条件のときには、15分後に停止します。
  - ー 外気温度が5°C以上のとき
  - ー バッテリー電圧が低下したとき
- 連続作動に設定していても、車速約15 km/h以下の状態が15分間続いた場合、自動的にOFFになります。

## 非常点滅灯（ハザードランプ）スイッチ

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。

スイッチを押すと、全ての方向指示器のランプが点滅します。

故障などでやむを得ず路上に駐車するとき、他の車に自分の車の存在を知らせるために使います。



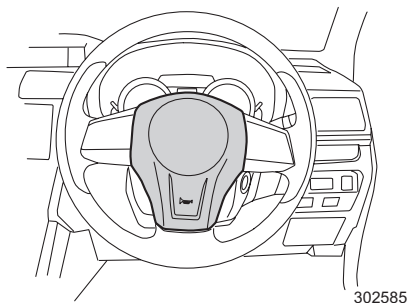
### アドバイス

- 非常時にお使いください。
- 長時間、点滅したままにしないでください。バッテリー上がりの原因になります。

## ホーンスイッチ

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。

ハンドル中央のパッド面を押すとホーンが鳴ります。

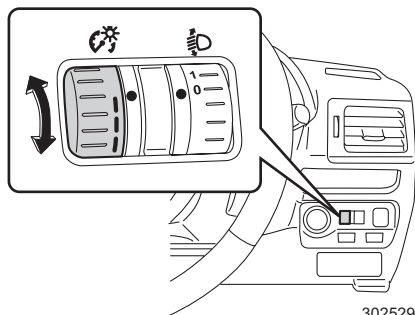




## イルミネーションコントロールダイヤル

ライティングスイッチが●または ⅢD のとき（AUTO の場合、メーター内のライティングスイッチ表示灯 ⅢD が点灯しているとき）、コントロールダイヤルを回すとコンビネーションメーター、エアコンパネル照明などの明るさを6段階に調整することができます。

- 上方向に回すと明るくなります。
- 下方向に回すと暗くなります。

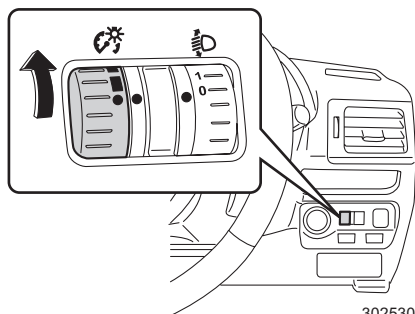


302529

### ■ ブライト（減光キャンセル）機能

ライティングスイッチを●または ⅢD にすると（AUTO の場合、メーター内のライティングスイッチ表示灯 ⅢD が点灯すると）、メーターが一段減光し、暗くなります。昼間、ランプを点灯させて走るようなときで表示が見にくい場合は、減光をキャンセルし、明るくすることができます。

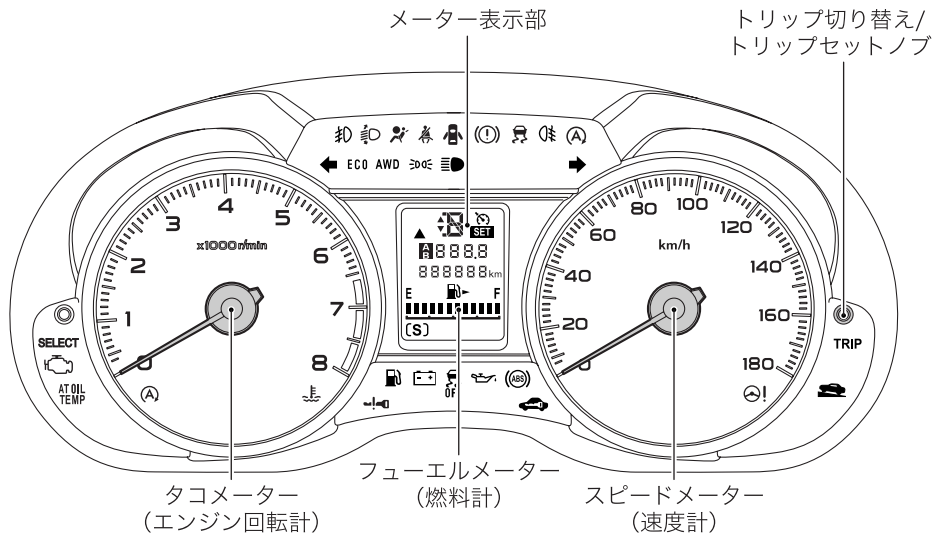
ダイヤルを一番明るい段階からさらに一段階（●印部分）上方向に回すと、減光がキャンセルされ、明るくなります。



302530

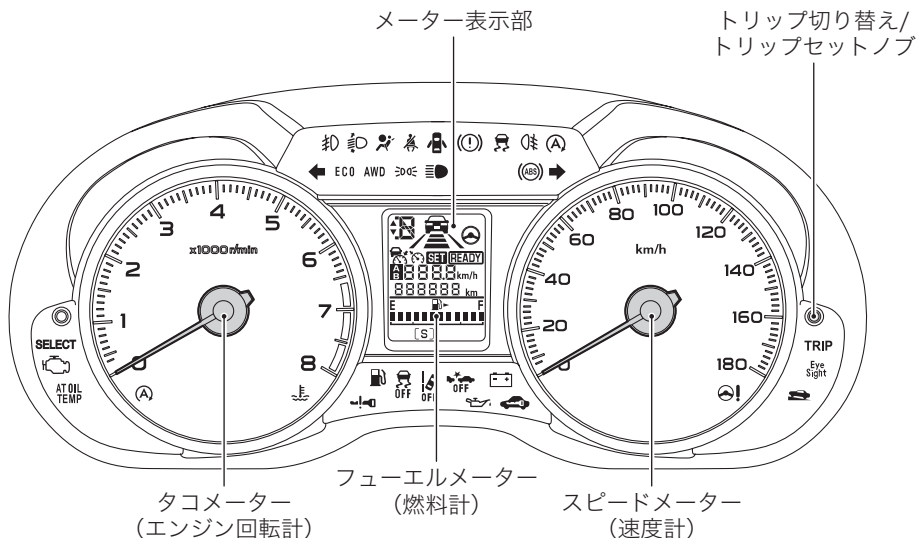
# コンビネーションメーター

## <タイプA>



302367

## <タイプB>



302370

- ※ 表示灯、警告灯の有無やメーターのデザインは、グレードおよび装備により一部異なります。
- ※ 「EyeSight (アイサイト)」関連の表示灯、警告灯については、別冊の「EyeSight (アイサイト) ver. 2」を併せてお読みください。

## メーター

### ■メーターの初期作動

メーターは、エンジンスイッチをONにするとメーターの全ての指針が一度最大値を指し、すみやかに戻ります。(スワイプ機能)

#### アドバイス

メーターの初期作動(スワイプ機能)は作動あり/作動なしの設定ができません。

☆3-30ページ参照

### ■スピードメーター (速度計)

車の走行速度を示します。

### ■タコメーター (エンジン回転計)

毎分のエンジン回転数を示します。

#### 注意

指針がレッドゾーン(エンジンの許容回転数を超えている範囲)に入らないように運転してください。

指針がレッドゾーンに入る運転を続けるとエンジンなどが損傷することがあります。

#### アドバイス

- アイドリング時に電気負荷が変動すると、エンジン回転数が変動することがあります。
- 極低速時、または停車時にハンドルを操作すると、エンジン回転数が変動することがあります。

## ■フューエルメーター（燃料計）

燃料の残量を示します。目盛りが「E」に近づいたら早めに給油をしてください。

☆2-29ページ参照



301648

### 注意

燃料を給油するときは、必ずエンジンを止めてください。

☆1-27ページ参照

### アドバイス

- エンジンスイッチがONのとき、燃料の残量を示します。ON以外の場合はトリップ切り替え/トリップリセットノブを押すと一定時間、燃料の残量を表示します。
- 給油後の残量はエンジンを始動すると示します。また、目盛りが安定するまでしばらく時間がかかります。
- 目盛りと消費量（残量）の関係は必ずしも正確ではありません。目安として活用してください。
- 坂道やカーブ、急発進、急停車などではタンク内の燃料が移動するため、目盛りが増減することがあります。
- エンジンスイッチがONのまま燃料を補給すると、正しい燃料残量が表示されません。
- 給油量が少ない場合（約 15L 以下）、目盛りが安定するまでしばらく時間がかかります。

## ■オドメーター（積算距離計）

走行した総距離をkmで表示します。

00 1228 km

302431

### アドバイス

エンジンスイッチがON以外の位置でもトリップ切り替え/トリップリセットノブを押すと、一定時間バックライトが点灯し、オドメーター・トリップメーターが表示されます。

## ■トリップメーター（区間距離計）

ある区間に走行した距離を知りたいとき使います。

表示範囲： 0.0 km～9999 km

**A** 122.8

**B** 119.4

301430

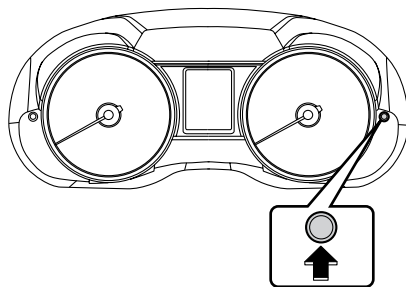
### アドバイス

エンジンスイッチがON以外の位置でもトリップ切り替え/トリップリセットノブを押すと、一定時間バックライトが点灯し、オドメーター・トリップメーターが表示されます。

## ●トリップA、B切り替え

トリップ切り替え／トリップリセットノブを押すごとに、次のように表示が切り替わります。

TRIP[A] ↔ TRIP[B]



301753

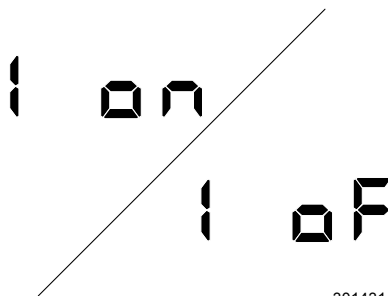
## ●トリップA、Bを0に戻すとき

トリップAまたはトリップBのうち、リセットしたい方を表示させ、トリップ切り替え／トリップリセットノブを押し続けると0.0に戻ります。

## ■メーターの初期作動（スイープ機能）の設定のしかた

指針の初期作動は作動あり／作動なしの設定を切り替えることができます。

- ① エンジンスイッチをON以外の位置にします。
- ② トリップ切り替え／トリップリセットノブを押し、表示を切り替えます。  
トリップ表示の次に現在の設定が表示されます。
- ③ トリップ切り替え／トリップリセットノブを2秒以上押すと切り替わります。
  - 初期作動あり…1 on
  - 初期作動なし…1 oF



301431

## 表示灯

### ■方向指示器表示灯

方向指示器の点滅を示します。



#### アドバイス

方向指示器の電球が切れたとき、またワット数の異なった電球を使用すると点滅が速くなります。

すみやかに点検し、電球を交換してください。

☆8-50ページ参照

### ■ライティングスイッチ表示灯

ライティングスイッチが●または☉のとき点灯します。

オートライト装備車は、ライティングスイッチがAUTOのとき、周囲が暗くなると点灯します。



### ■ハイビーム/パッシング表示灯

ヘッドランプが上向きするとき点灯します。

また、パッシング時も点灯します。



### ■フロントフォグランプ表示灯

フロントフォグランプが点灯しているとき点灯します。



#### アドバイス

フロントフォグランプはヘッドランプの代わりにはなりません。また、使用方法を誤ると、まわりの車や対向車へ迷惑をかけることとなります。郊外や山間部での濃霧などで見通しが悪いときだけ使用してください。

### ■リヤフォグランプ表示灯

リヤフォグランプが点灯しているとき点灯します。



#### アドバイス

リヤフォグランプは使用方法を誤ると、後続車へ迷惑をかけることとなります。郊外や山間部での濃霧などで見通しが悪く、後続車に自分の位置を知らせる必要があるときにだけ使用してください。

## ■セキュリティ表示灯



キーレスエントリー（キーレスアクセス機能、電波式リモコンドアロック）で全てのドア（リヤゲート含む）およびトランクを施錠すると盗難警報装置が監視状態に入り、表示灯が点滅します。

### ⚠ 注意

盗難警報装置が作動中、キーを使ってドアまたはトランクを開けるとホーンが鳴り、非常点滅灯（ハザードランプ）が点滅します。

☆2-39ページ参照

## ●イモビライザー装備車

通常は点滅しています。

次のことを行った場合、表示灯は消灯します。

- アクセスキーを携帯しプッシュエンジンスイッチを押してACCにしたとき（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車）
- エンジンスイッチにキーを差し込んだとき（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外）

### 🏠 アドバイス

登録されていないキーを使用すると表示灯が点灯します。（キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外）

☆2-37ページ参照

## ■Info-ECO（インフォ・エコ）表示灯

ECO

エンジンスイッチをONにするとInfo-ECO（インフォ・エコ）表示灯が点灯します。

次の場合、Info-ECO（インフォ・エコ）表示灯は消灯します。

- [S]モードスイッチを押したとき（CVT車）
- セレクトレバーを[M]にしたとき（マニュアルモード装備車）
- クルーズコントロールをセットし、メーター表示部に“SET”が表示されたとき（クルーズコントロール装備車またはEyeSight装備車）

### 🏠 アドバイス

“Info-ECO”表示灯が点灯中は燃費の良い走行状態であることを示しています。急加速が必要で、アクセルペダルを急に踏み込んだときなどは、“Info-ECO”表示灯は消灯します。

“Info-ECO”表示灯が消灯しないようにアクセルペダルの踏み加減を調整しながら走行すると、燃費の良い走りかたができます。



## ■シフトアップ表示灯（マニュアル車）

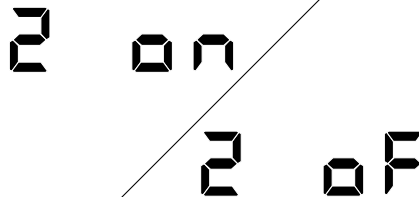
エンジンスイッチをONにすると点灯し、約3秒後に消灯します。  
燃費効率の良い運転ができるように、シフトアップのタイミングを点滅してお知らせします。



## ●シフトアップ表示灯のカスタマイズ

シフトアップ表示灯は、次の操作により表示あり／表示なしの設定ができます。

- ① エンジンスイッチをLOCKまたはOFFにしてください。
- ② トリップ切り替え／トリップリセットノブを押し、表示を切り替えます。
- ③ 指針の初期動作（スイープ機能）の設定表示の次に、現在の設定が表示されます。
- ④ このときトリップ切り替え／トリップリセットノブを2秒以上押すと切り替わります。



301397


運転するとき

## ■セレクトインジケーター／シフトポジション表示灯（CVT車）

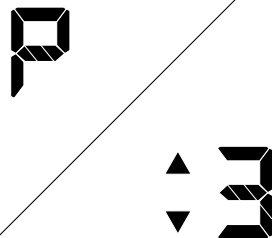
セレクトレバーの位置またはギヤ位置を表示します。

☆3-54ページ参照

### <マニュアルモード装備車>

☆マニュアルモード時、シフトアップ、シフトダウンが可能な場合に印が点灯します。

☆3-64ページ参照



302266

## ■VDC OFF表示灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。

VDC OFFスイッチを押してVDCを作動停止状態にしたときに点灯します。

☆5-26ページ参照

## ■クルーズコントロール表示灯



エンジンスイッチONで点灯し、約3秒後に消灯します。

クルーズコントロールのメインスイッチを押すと点灯します。

表示灯が点灯すると、クルーズコントロールシステムの速度をセットできます。

☆3-74ページ参照



### 注意

エンジン警告灯が点灯すると、同時にクルーズコントロール表示灯も点滅します。高速走行を避け、直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

## ■クルーズコントロール車速セット表示灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、約3秒後に消灯します。

クルーズコントロール表示灯が点灯している状態で、任意の速度をセットしたときに点灯します。

☆3-74ページ参照

## ■[S]モード表示灯



[S]モードスイッチを押すと点灯します。

☆3-65ページ参照



### 注意

エンジンスイッチがONでも点灯しない場合、および表示灯が点滅し[S]モードスイッチを操作しても切り替わらない場合は、システムの異常が考えられますので、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

## ■アイドリングストップ表示灯（緑色）



エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。

アイドリングストップの作動条件を満たしたとき、またはアイドリングストップ中に点灯します。エンジンが再始動すると消灯します。

☆3-66ページ参照

## 警告灯

マルチファンクションディスプレイ装備車は、警報や異常を検知すると割り込み画面が表示されます。

☆4-93ページ参照

### ■ブレーキ警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。

エンジン回転中、次の場合に点灯します。

- 駐車ブレーキが完全に解除されていないとき
- ブレーキ液が著しく不足しているとき
- エレクトロニック ブレーキフォース ディストリビューション (EBD) の電子制御システムに異常があるとき

EBDの電子制御システムに異常があるときはABS警告灯も同時に点灯します。

☆5-24ページ参照

### ⚠ 注意

- エンジン回転中に駐車ブレーキを解除しても消灯しないとき、またはブレーキ液を補充しても消灯しないときは、直ちに安全な場所に停車し、スバル販売店に連絡し、点検を受けてください。
- ブレーキ液が正常で、ABS 警告灯も同時に点灯している場合は、アンチロックブレーキシステム (ABS) に異常が発生している可能性があります。そのため、強めのブレーキの際に車両が不安定になるおそれがあります。直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

運転するとき

## ■シートベルト警告灯



エンジンスイッチがONで運転席のシートベルトが未着用の場合、メーター内の警告灯が点灯します。シートベルトを着用すると消灯します。また助手席（乗員がいるとき）および後席のシートベルトが未着用の場合、インストルメントパネル内の警告灯が点灯します。

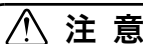
シートベルトを着用せずに走行するとブザーが鳴ります。

☆2-67ページ参照

## ■半ドア警告灯



エンジンスイッチの位置に関係なくドアが完全に閉じていないときに点灯します。リヤゲートまたはトランクが完全に閉じていないときも点灯します。



**注意**

警告灯が点灯したままの状態では走行しないでください。

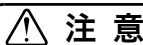
## ■ABS警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。

アンチロックブレーキシステム（ABS）の電子制御システムに異常があると点灯します。

☆5-22ページ参照



**注意**

警告灯が点灯するとABSは作動せず通常のブレーキとして作動します。走行上支障ありませんが、滑りやすい路面では気をつけて運転し、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。



**アドバイス**

警告灯が次の場合は正常です。

- エンジン始動後に警告灯が点灯してすぐに消灯し、その後再び点灯しない。
- エンジン始動後に警告灯が点灯したままであるが、車速 40 km/h になったとき消灯する。
- 走行中に点灯してもその後消灯し、再度点灯しない。

## ■AWD警告灯 (CVT車)

AWD

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後約2秒後に消灯します。

異なる径のタイヤをいずれかの車輪に取り付けて走行したとき点滅します。

または4本のタイヤのいずれかの空気圧が著しく低下したまま走行しているときに点滅する場合があります。

☆5-20ページ参照

### 警告

- AWD 警告灯が点滅したまま走行を続けると、車両の駆動系の損傷や最悪の場合、火災につながるおそれがあり危険です。AWD 警告灯が点滅したときは、すみやかに安全な場所に駐車し、4本のタイヤ径が同じかどうか、また、タイヤのパンクもしくは空気圧の低下がないかどうか確認してください。
- タイヤに異常がない場合には、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

## ■ヒルスタートアシスト警告灯/ヒルスタートアシスト OFF 表示灯



### ●ヒルスタートアシスト警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後約2秒後に消灯します。

エンジン回転中、ヒルスタートアシストの制御システムに異常があると点灯します。

☆5-31ページ参照

### 警告

警告灯が点灯したときは、ヒルスタートアシストは作動しません。すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

### ●ヒルスタートアシストOFF表示灯

ヒルスタートアシストの機能を解除したとき点灯します。

☆5-32ページ参照

## ■SRSエアバッグ警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、約6秒後に消灯します。  
運転席・助手席エアバッグ、サイドエアバッグ（装備車）、カーテンエアバッグ（装備車）、エアバッグセンサー、シートベルトプリテンショナーのいずれかに異常があると点灯します。

### 警告

- 警告灯が次のようになったときはシステム異常が考えられますので走行しないでください。衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。  
直ちにスバル販売店で点検を受けてください。
  - － エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき
  - － 走行中に点灯したとき
- 警告灯がシステム異常を示している場合、軽微な衝撃でSRSエアバッグが作動したり、大事故でも作動しない場合があります。

## ■オイルプレッシャー警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後に消灯します。  
エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているエンジンオイルの圧力に異常があると点灯します。

### 注意

走行中に点灯したときは、直ちに安全な場所に停車し、エンジンを止めてエンジンオイル量を点検してください。エンジンオイル量が正常にもかかわらず点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、直ちにスバル販売店にご連絡ください。

### アドバイス

オイルプレッシャー警告灯はオイル量を示すものではありません。  
オイル量の点検はオイルレベルゲージで行ってください。

AT OIL  
TEMP

## ■AT油温警告灯 (CVT車)

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後約2秒後に消灯します。CVTのトランスミッションフルードの温度が高くなると点灯し、CVTに異常があるとき点滅します。

### 注意

- 走行中に点灯したときは、冷却のため直ちに安全な場所に停車し、セレクタレバーをPにしてエンジンをかけたままにしてください。しばらくして消灯すれば走行できます。消灯しないときは、直ちにスバル販売店にご連絡ください。
- 警告灯が点滅したときは直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

## ■チャージ警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後に消灯します。エンジン回転中、充電系統に異常があると点灯します。



### 注意

エンジン回転中に点灯したときは、発電機の駆動ベルト切れなどが考えられます。直ちに安全な場所に停車し、スバル販売店にご連絡ください。

運転するとき

## ■エンジン警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後に消灯します。エンジン回転中、エンジン電子制御システムの異常があると点灯します。エンジン回転中、触媒を損傷する可能性があるとき点滅します。



### 注意

- エンジン回転中に点灯したときは、エンジン電子制御システムに異常があります。高速走行を避け、直ちにスバル販売店で点検を受けてください。
- エンジン回転中に点滅したときは、触媒を損傷する可能性があります。触媒の損傷を防ぐため、次のことを行ってください。
  - － 速度を落として走行してください。
  - － 急発進、急加速を避けてください。
  - － 急な上り坂を避けてください。
  - － 可能であれば荷物を減らしてください。

上記の処置をしてもエンジン警告灯が点滅したままの場合、または点灯に変わった場合は、直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

## ■燃料残量警告灯



エンジンスイッチがONのとき、燃料残量が約9L以下になると点灯します。

### 注意

点滅したときはフューエルメーター（燃料計）に異常があります。このとき正しい燃料残量は表示されません。直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

### アドバイス

- 点灯したときは、すみやかに給油してください。
- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、警告灯が早めに点灯することがあります。

## ■VDC警告灯/VDC作動表示灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後約2秒後に消灯します。

### ●VDC警告灯

VDCの電子制御システムに異常があると点灯します。

### ●VDC作動表示灯

TCS機能作動時、またはVDC作動時に点滅します。

☆5-26ページ参照

### 注意

- 次の場合は異常が考えられますので、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。
  - － エンジンスイッチのONにしても点灯しない。
  - － エンジン始動後、数分たっても消灯しない。
- VDCの作動にABSの構成部品を使っているため、ABSの電子制御システムに異常があるときはABS警告灯の点灯と同時にVDC警告灯も点灯します。VDC警告灯とABS警告灯が同時に点灯したときは、VDCはもちろんABSも作動しません。通常のブレーキとしては作動しますので、走行上支障はありませんが、滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。
- VDC警告灯のみが点灯したときは、VDC機能やTCS機能は作動しませんがABSは作動します。VDCの付いていない車両と同じように扱ってください。  
滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。



## 🏠 アドバイス

- 警告灯が下記の場合は正常です。
  - － エンジン始動後、警告灯が点灯したがすぐに消灯し、その後再び点灯しない
  - － エンジン始動後に警告灯が点灯したままであるが、その後走行中に消灯する
  - － 走行中に点灯してもその後消灯し、再度点灯しない
- 寒い日の朝などにエンジンを始動させた場合、消灯までに時間がかかる場合がありますが、これは異常ではありません。

## ■ オートヘッドランプレベラー警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、約3秒後に消灯します。

エンジン回転中、オートヘッドランプレベラー（自動光軸調整機構）の電子制御システムに異常があると点灯します。

☆3-11ページ参照

## ⚠️ 注意

オートヘッドランプレベラー警告灯が点灯したときは、照射方向の自動調整が行われない場合があります。直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

## ■ 水温警告灯 / 水温表示灯

エンジンスイッチをONにすると、約2秒間赤く点灯し、その後消灯あるいは青く点灯します。エンジン冷却水温の低温を示す表示灯（青点灯）と高温を示す警告灯（赤点滅と赤点灯）があります。

### ● 水温表示灯（青色）

水温が低いときに点灯します。水温が上がると消灯します。

### ● 水温警告灯（赤色）

水温がオーバーヒート手前の温度になると点滅し、オーバーヒートになると点灯します。点滅または点灯したときは、オーバーヒートの処置を行い、スバル販売店で点検を受けてください。

☆8-37ページ参照

## ⚠️ 注意

- エンジンスイッチをONにした後、約2秒以上たっても赤く点灯し続けた場合、または赤 / 青に交互に点灯した場合は、電気系統の異常が考えられます。直ちにスバル販売店で点検を受けてください。
- 暖機後も水温表示灯（青色）が点灯し続ける場合は、冷却系統などに異常が考えられます。すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

### アドバイス

走行状態により、再始動時しばらくの間赤く点灯する場合がありますが、消灯すれば異常ではありません。

### ■ステアリング制御警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジン始動後約2秒後に消灯します。エンジン回転中、パワーステアリングの電子制御システムに異常があると点灯します。

### 注意

ステアリング制御警告灯が点灯しているときは、ハンドル操作が重くなる場合があります。気をつけて運転し、直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

### ■キー無し警告灯 (キーレスアクセス&プッシュスタート装備車)

エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。  
車内にアクセスキーがない場合に点滅します。

☆2-13ページ参照

### ■アイドリングストップ警告灯/ アイドリングストップOFF表示灯 (黄色)

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンを始動すると消灯します。  
アイドリングストップOFFスイッチを押してシステムを解除すると、点灯します。アイドリングストップシステムに異常があるとき点滅します。

☆3-69、3-70ページ参照

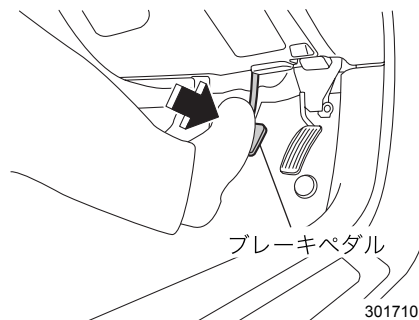
# 運転装置の使いかた

## エンジンの始動と停止のしかた (キーレスアクセス&プッシュスタート装備車)

### ■エンジンの始動

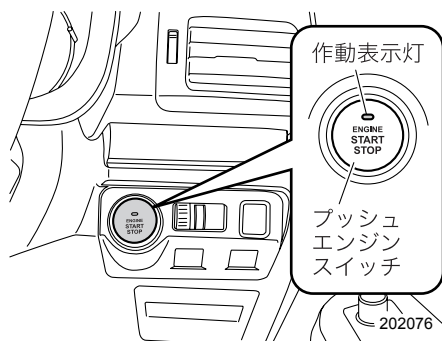
#### ●CVT車

- ① アクセスキーを携帯し運転席に座ります。
- ② 駐車ブレーキが確実にかかっていることを確認します。
- ③ セレクトレバーが[P]であることを確認します (Nでも始動できますが、安全のためPで始動してください)。
- ④ プッシュエンジンスイッチ内の作動表示灯が緑色になるまで、ブレーキペダルを踏み込みます (Nで始動する場合、作動表示灯は緑色になりません)。



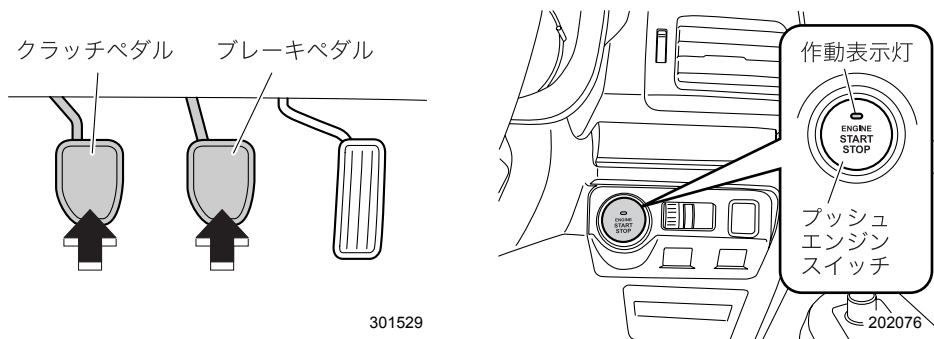
運転するとき

- ⑤ ブレーキペダルを確実に踏んだまま、プッシュエンジンスイッチを押します。エンジンが始動するまでブレーキペダルを踏み続けてください。



## ●マニュアル車

- ① アクセスキーを携帯し運転席に座ります。
- ② 駐車ブレーキが確実にかかっていることを確認します。
- ③ チェンジレバーがニュートラルであることを確認します。
- ④ ブレーキペダルを踏みます。
- ⑤ プッシュエンジンスイッチ内の作動表示灯が緑色になるまで、クラッチペダルを踏み込みます。
- ⑥ クラッチペダルを確実に踏んだまま、プッシュエンジンスイッチを押します。  
エンジンが始動するまでクラッチペダルを踏み続けてください。



### 警告

- 車外からのエンジン始動は絶対に行わないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中エンジンを止めると触媒が過熱して焼損することがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところではエンジンをかけたままにしないでください。車内や屋内などに排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒の原因になるおそれがあります。
- エンジンの始動操作をしたときに、プッシュエンジンスイッチ内の作動表示灯が緑色に点滅している場合は、けん引等も含め絶対に車両の移動はしないでください。ステアリングロックが解除されていない状態のため、ハンドル操作ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ⚠ 注意

- プッシュエンジンスイッチ内の作動表示灯が橙色に点滅しているときは、車両の異常が考えられます。直ちにスバル販売店にご連絡ください。
- エンジンを始動するときは必ず運転席に座って行ってください。
- 10秒以上プッシュエンジンスイッチを押し続けしないでください。スターターが回り続けるため、故障の原因になります。

## 🏠 アドバイス

- エンジン始動操作をしたとき、プッシュエンジンスイッチ内の作動表示灯が緑色に点滅しているときは、ステアリングロックが解除されていません。

☆3-4ページ参照

- エンジンが始動していないときは、ブレーキペダルが硬く感じる場合があります。そのときは通常よりも強くブレーキペダルを踏んでスイッチ内の作動表示灯が緑色になることを確認してからプッシュエンジンスイッチを押し、エンジンを始動してください。
- ブレーキペダル (CVT車) もしくはクラッチペダル (マニュアル車) を踏みながらプッシュエンジンスイッチを押すと最大 10 秒間スターターが回ります。エンジンが始動するとスターターは止まります。
- エンジンの始動直後は、急激な空吹きや、急加速などをしないでください。
- エンジンがかかった後は水温表示灯 (青色) が点灯している間、アイドリング回転が高めに保たれます。暖機が終わると自動的に下がります。
- 使用するガソリンや使用状態 (水温表示灯 (青色) が消灯しない程の距離の走行を繰り返す) によっては、エンジンがかかりにくくなるのがまれに発生します。その場合、他ブランドのガソリンに切り替えることをお奨めします。
- 始動の際、電装品をOFFにした方が、容易に始動します。
- エンジン始動時にセキュリティ表示灯が点灯してエンジンがかからない場合は、一度プッシュエンジンスイッチを押して電源をOFFにしてから、再度エンジン始動を行ってください。
- エンジンが始動しない場合は、ブレーキペダル (CVT車) もしくはクラッチペダル (マニュアル車) から足を離し、プッシュエンジンスイッチを押して一度電源をOFFに戻してください。10秒間放置してからもう一度ブレーキペダル (CVT車) もしくはクラッチペダル (マニュアル車) を強く踏みながら、プッシュエンジンスイッチを押してください。

次ページへ ⇒

⇒前ページより

- 周辺の電波状況により、通常手順のドアの施錠・解錠およびエンジン始動ができないことがあります。そのときは、「アクセスキーが正常に作動しないとき」を参照してドアの施錠・解錠およびエンジン始動を行ってください。

☆8-72ページ参照

- バッテリー交換などでバッテリー端子を再接続した直後は、エンジンが始動しないことがあります。その場合はエンジンスイッチをONにし、10秒以上経過してからエンジンを始動してください。エンジン始動直後はアイドリングが不安定になることがありますが、異常ではありません。
- 極低温時に、リモコンエンジンスターターを使用すると、始動できない場合もあります。また、純正以外のリモコンエンジンスターターを使用すると、エンジンがかかりにくい場合や、スパークプラグのくすぶりを引き起こすことがあります。
- 急発進、急加速時など、急なアクセル操作時、まれにエンジンから過渡的なノッキング音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

**緊急時のエンジン始動方法**

通常手順のエンジン始動でエンジンが始動しないときは、次の方法を行ってください。エンジンが始動する場合があります。(緊急時以外は、この方法でエンジンを始動しないでください。)

- CVT車はセレクトレバーを **P** にします。電源をACCにしてブレーキペダルを踏み、プッシュエンジンスイッチを約15秒以上押し続けてください。
- マニュアル車はチェンジレバーをニュートラルにします。電源をACCにしてブレーキペダルと、クラッチペダルを踏み、プッシュエンジンスイッチを約15秒以上押し続けてください。

## ■エンジンの停止

車両を完全に停止させ、プッシュエンジンスイッチを押します。このときエンジンが停止し、エンジンスイッチの電源がOFFになります。

ただし、CVT車はセレクトレバーを[P]に入れてからエンジンスイッチを押さないと電源がOFFになりません。

### 警告

- 走行中はプッシュエンジンスイッチにさわらないでください。  
プッシュエンジンスイッチを約3秒以上押し続ける、またはすばやく3回以上連続で押すとエンジンが停止します。エンジンが停止するとブレーキブースター（制動力倍力装置）が効かなくなり、ペダルを踏むときに通常より強い力が必要となります。  
また、パワーステアリング機能が働かずハンドル操作が重くなり思わぬ事故につながるおそれがあります。緊急時以外は走行中にエンジンを停止させないでください。
- 走行中にエンジンが停止した場合、安全な場所で車両が停止するまでプッシュエンジンスイッチを操作したり、ドアを開けたりしないでください。ステアリングロックが作動する可能性があり危険です。安全な場所に停止させた後、直ちにスバル販売店にご連絡ください。

### 注意

CVT車はセレクトレバーが[P]以外でエンジンを停止しないでください。  
[P]以外でエンジンを停止した場合、電源はACCになるためそのまま放置するとバッテリー上がりの原因となります。

### アドバイス

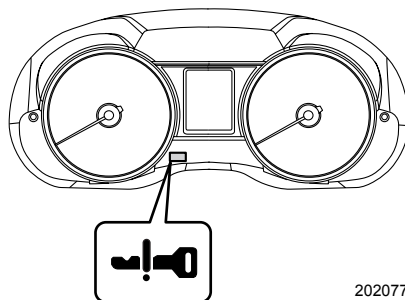
走行中緊急にエンジンを停止させる必要がある場合は、プッシュエンジンスイッチを約3秒以上押し続ける、またはすばやく3回以上連続で押すと、エンジンを停止させることができます。

## ■警告音および警告表示

キーレスアクセス&プッシュスタートでは誤操作などを防止するため警告音や警告灯の点滅、またはプッシュエンジンスイッチ内の作動表示灯の点滅により警告します。  
この場合は適切な処置を行ってください。

また、警告などを検知するとマルチファンクションディスプレイに割り込み画面が表示されます。

☆4-93ページ参照



202077

## ●警告一覧表

室内ブザー 警報	室外ブザー 警報	メーター内 キー無し 警告灯	プッシュ エンジン スイッチ内 作動表示灯	状況	対処方法
ピッ	—	 (点滅)	—	車内にアクセスキーがない状態でプッシュエンジンスイッチを押しした。	アクセスキーを携帯してプッシュエンジンスイッチを押ししてください。
ピッ	—	—	—	電源をOFFにした。	アクセスキーの電池残量が低下しているのので、電池を交換してください。
ピッ	—	—	緑点滅 (最長 15秒間)	エンジン始動操作をしたが、ハンドルのロックが解除されていない。	ハンドルを軽く左右に回しながら、ブレーキペダルを踏み、プッシュエンジンスイッチを押ししてください。
ピッ	—	—	橙点滅	電源システムやステアリングロックの異常が検出された。	直ちにスバル販売店に連絡し、点検を受けてください。
ピッ	—	—	橙点滅	電源がOFFで運転席を開けたときに、クラッチの位置検出スイッチの異常が検出された。	直ちにスバル販売店に連絡し、点検を受けてください。
ピッ	—	—	橙点滅	電源をOFFにしたときに車速信号の異常が検出された。	直ちにスバル販売店に連絡し、点検を受けてください。



## エンジンの始動と停止のしかた (キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外)

### ■エンジンの始動

#### ●マニュアル車

- ① 駐車ブレーキが確実にかかっていることを確認します。
- ② チェンジレバーがニュートラル位置であることを確認します。
- ③ 運転席に座り、ブレーキペダルを踏みます。
- ④ クラッチペダルをいっぱいに踏みます。
- ⑤ エンジンスイッチにキーを差し込みSTARTまでスイッチを回します。このとき、アクセルペダルを踏まずに、エンジンが始動するまでスターターを回します。(10秒以内)

#### ●CVT車

- ① 駐車ブレーキが確実にかかっていることを確認します。
- ② セレクトレバーが[P]であることを確認します。(N)でも始動できますが、安全のため[P]で始動してください。)
- ③ 運転席に座り、ブレーキペダルを踏みます。
- ④ エンジンスイッチにキーを差し込みSTARTまでスイッチを回します。このとき、アクセルペダルを踏まずに、エンジンが始動するまでスターターを回します。(10秒以内)

運転するとき

#### 警告

- 走行中エンジンを止めると触媒が過熱して損傷することがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところではエンジンをかけたままにしないでください。車内や屋内などに排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒の原因になるおそれがあります。

#### 注意

- エンジンを始動するときは必ず運転席に座って行ってください。
- 10秒以上スターターを回し続けしないでください。スターターが故障する原因になります。かからないときは、一旦スイッチをOFFに戻し、10秒間放置してからもう一度エンジンスイッチを回し、スターターを回してください。

## アドバイス

- マニュアル車には誤操作防止のため、クラッチスタートシステムが装備されています。クラッチペダルをいっばいに踏み込まないとスターターが回らず、エンジンがかからないようになっています。
- エンジンの始動直後は、急激な空吹かしや、急加速などをしないでください。
- エンジンがかかった後は水温表示灯（青色）が点灯している間、アイドリング回転が高めに保たれます。暖機が終わると自動的に下がります。
- エンジンがかかりづらいときは、駐車ブレーキを再確認後、アクセルペダルをわずかに（1/4程度）踏み込んで、エンジンスイッチをSTARTに回します。エンジンがかからない場合はアクセルペダルをいっばいに踏み込んでエンジンスイッチをSTARTに回してください。エンジンがかかったらすみやかにアクセルペダルから足を離してください。  
それでもかからないときは、もう一度アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチをSTARTに回してください。エンジンがかからなければスバル販売店に連絡し、点検を受けてください。
- 使用するガソリンや使用状態（水温表示灯（青色）が消灯しない程の距離の走行を繰り返す）によっては、エンジンがかかりにくくなるのがまれに発生します。その場合、他ブランドのガソリンに切り替えることをお奨めします。
- 始動の際、電装品をOFFにした方が、容易に始動します。
- 極低温時に、リモコンエンジンスターターを使用すると、始動できない場合もあります。また、純正以外のリモコンエンジンスターターを使用すると、エンジンがかかりにくい場合や、スパークプラグのくすぶりを引き起こすことがあります。
- 急発進、急加速時など、急なアクセル操作時、まれにエンジンから過渡的なノッキング音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- バッテリー交換などでバッテリー端子を再接続した直後は、エンジンが始動しないことがあります。その場合はエンジンスイッチをONにし、10秒以上経過してからエンジンを始動してください。エンジン始動直後はアイドリングが不安定になることがありますが、異常ではありません。

## ■ エンジンの停止

エンジン回転数がアイドリング状態まで下がってから、エンジンスイッチを切ります。

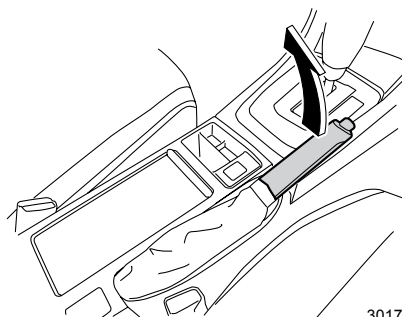
## アドバイス

車両が停止した直後は、エンジン回転数がアイドリング状態に戻るまで時間が多少かかることがあります。

## 駐車ブレーキ

### ■かけるとき

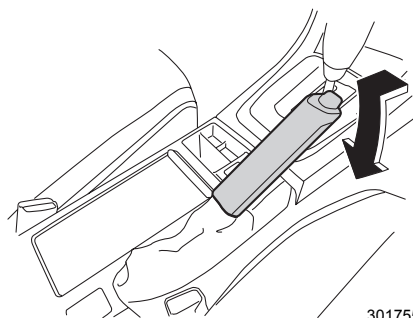
ボタンを押さずにレバーをいっぱいに引きます。同時にメーター内のブレーキ警告灯が点灯します。



301754

### ■解除するとき

レバーを軽く引き上げ、ボタンを押しながら完全に下まで戻します。戻したときブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。



301755

運転するとき

### ⚠ 注意

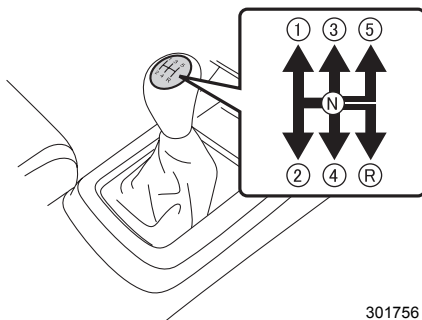
- 駐車するときは車が動き出さないように確実に引いてください。
- 走行するときはレバーを完全に戻し、ブレーキ警告灯が消灯していることを確かめてください。レバーを引いたまま走行すると、ブレーキ部品が早く摩耗したり、後輪ブレーキが過熱して効かなくなることがあります。

# マニュアル車の運転

## チェンジレバー

### ■チェンジレバーの操作

変速するときは、クラッチペダルをいっばいに踏み込んで確実に操作してください。“R”にするとブザーが鳴り、運転者に“R”であることを知らせます。



301756

### ⚠ 警告

クラッチペダルを一気に離す操作はしないでください。車両が飛び出して、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションを損傷するおそれがあります。

### ⚠ 注意

- 誤操作を防ぐため“5” → “R”へ直接入れることはできません。一度“N”に入れてから“R”に入れてください。
- チェンジレバーを“R”に入れるときは、車が完全に止まり、エンジン回転数がアイドリング状態まで下がってから、入れてください。エンジン回転数が高いままだとトランスミッションを損傷させることがあります。
- 半クラッチの連続使用はしないでください。クラッチ早期摩耗の原因になります。

### 🏠 アドバイス

- 変速時、ギヤが入りにくい場合は、一度クラッチを踏み直すと入りやすくなります。
- 後退した後は、すぐに“R”から“N”に戻す習慣をつけてください。

## ■シフトアップ表示灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、約3秒後に消灯します。  
燃費効率の良い運転ができるように、シフトアップのタイミングを点滅してお知らせします。



# CVT車の運転

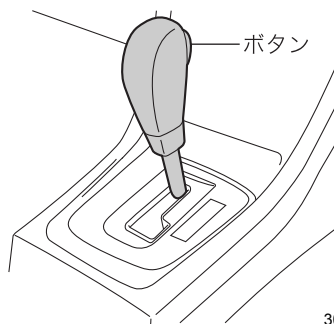
## セレクトレバー

### ■各位置での働きと操作方法

 (パーキング)	駐車およびエンジン始動位置	駐車するときは必ず駐車ブレーキをかけて[P]にしてください。
 (リバース)	後退位置	ブザーが鳴り、運転者に[R]であることを知らせます。
 (ニュートラル)	中立位置	
 (ドライブ)	通常走行位置	車速およびアクセルペダルの踏み込みに応じて自動的に変速します。
 (マニュアル) 	マニュアルモード走行位置	手動で変速するときに使用します。 ☆3-63ページ参照
 (Lレンジ) 	降坂路走行位置	下り坂やカーブの手前など、エンジンブレーキが必要なときに使用します。 ☆3-65ページ参照

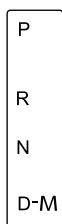
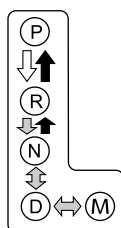
レバーは各位置でしっかりと止まるところまで確実に動かしてください。

↓	ブレーキペダルを踏まないで操作できません。ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押して操作します。
↑	ボタンを押して操作します。
↓↑	ボタンを押さずに操作します。

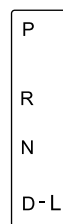
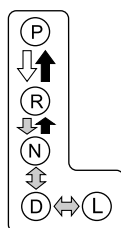


302553

## マニュアルモード装備車



## Lレンジ装備車



301760

### 警告



発進時は、アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーの操作を絶対にしないでください。急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。

### 注意


- セレクトレバー周辺に物を置かないでください。誤操作の原因となります。
- **P**でエンジンをかけてください。
- **N**でもエンジンはかかりますが、安全のため**P**でかけてください。
- **P**、**R**に入れるときは、車が完全に止まってからセレクトレバーを操作してください。トランスミッションを損傷させるおそれがあります。
- **P**以外の状態で長時間放置すると、バッテリー上がりの原因になります。
- 切り返しするとき、**D**→**R**、**R**→**D**と何度もレバーを操作するときは、その都度ブレーキペダルをしっかりと踏み、車を完全に止めてから行ってください。
- 後退した後は、すぐに**R**から**N**に戻す習慣をつけてください。
- CVTフルードの油温が通常時より高い場合、AT油温警告灯が点灯します。

☆3-39ページ参照

### アドバイス


- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
-  のとき、先にセレクトレバーを手前に引いてブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチがLOCK (OFF) またはACCのときは、ブレーキペダルを踏んでもレバーを  から他の位置に切り替えられません。

## ■ CVT車の制御

セレクトレバーが  での走行時、スムーズな走りを実現するための制御を行います。

### アドバイス

低水温時に暖機促進や走行性を良くするため、変速タイミングを通常時より高回転側にしています。(暖機が進むと、自動的に通常の変速タイミングに戻ります。)

- Nコントロール (アイドリングストップ装備車以外)  
車が完全に停止した後、セレクトレバーが  のままアイドリング状態でブレーキペダルをしっかりと踏んでいると、ギヤがニュートラル状態になります。
- 登降坂制御  
走行中の路面勾配による駆動力とエンジンブレーキ力を最適に制御し、登坂、降坂での運転をアシストします。

### アドバイス

急な上り坂の連続運転など、継続的に負荷のかかる走行を行った場合、車両の冷却性能を維持するためエンジン回転数または車速が自動的に低下することがあります。  
負荷が低下し、冷却性能を維持できる状態に戻るとエンジン回転数または車速は元に戻ります。



## ■シフトロックシステム

セレクトレバーの誤操作を防ぐシステムです。

- **[P]**からのレバー操作は、エンジンスイッチをONにしブレーキペダルを踏まないとできません。
  - －セレクトレバーを**[P]**から他の位置に操作するとき、先にセレクトレバーを手前に引いてからブレーキペダルを踏むと、レバー操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏み、レバー操作をしてください。
- **[P]**以外ではエンジンスイッチからキーが抜けず、またはエンジンスイッチをOFFにできません。
  - －**[P]**以外ではエンジンスイッチをACC※からLOCKまたはOFFにできません。
- **[N]**でエンジンを停止した場合、しばらくするとレバーを**[P]**に操作することができなくなる場合がありますので直ちにブレーキペダルを踏みながら**[P]**にしてください。もし、セレクトレバーを**[N]**から**[P]**に操作できないときは、エンジンスイッチをONにし、ブレーキペダルを踏みながら**[P]**へ操作してください。またはシフトロックを解除してください。

☆8-70ページ参照

- エンジンスイッチがONで操作できないときは、エンジンスイッチをONからACC※にし、ブレーキペダルを踏みながら**[P]**へ操作してください。(60秒以内)  
エンジンスイッチがONで操作できないときは、シフトロックシステムなどの異常が考えられます。直ちにスバル販売店にご連絡ください。

※キーレスアクセス&プッシュスタート装備車は、**[P]**以外でエンジン回転中にエンジンスイッチを押してエンジンを停止させた電源状態がACCになります。

## 運転手順

### ■エンジンをかける前に

- ①正しい運転姿勢をとります。ペダルを確実に踏むことができ、ハンドル操作が楽にできるように、ハンドルの位置、シートの位置を調整してください。

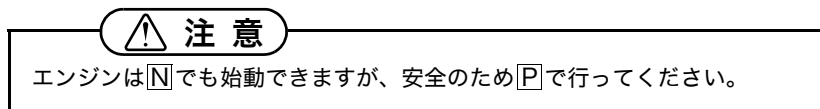
☆2-45、2-85ページ参照

- ②アクセルペダルの位置を右足で確認します。
- ③ブレーキペダルの位置を右足で確認します。



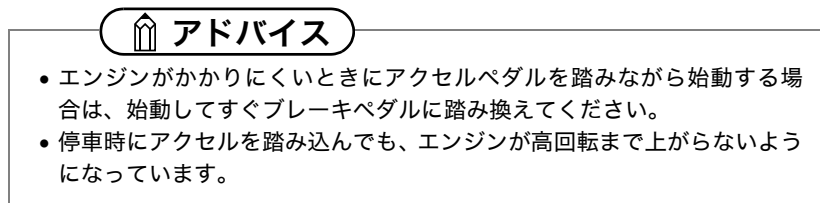
### ■エンジン始動

- ①駐車ブレーキが確実にかかっていることを確認します。
- ②セレクトレバーが[P]であることを確認します。



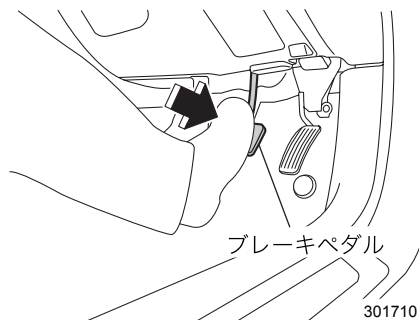
### <キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外>

- ③ブレーキペダルを右足で踏みます（アクセルペダルは踏まないこと）。
- ④ブレーキペダルを踏んだままエンジンスイッチをSTARTまで回し、エンジンを始動します。

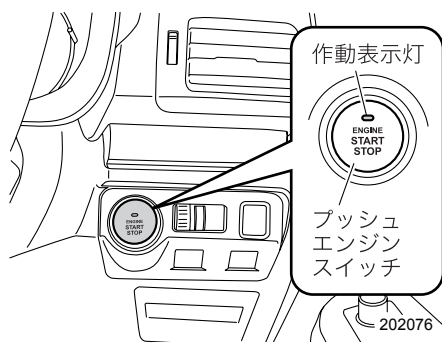


## <キーレスアクセス&プッシュスタート装備車>

- ③ プッシュエンジンスイッチ内の作動表示灯が緑色になるまで、ブレーキペダルを踏み込みます（**N**で始動する場合、作動表示灯は緑色になりません）。



- ④ ブレーキペダルを確実に踏んだまま、プッシュエンジンスイッチを押します。エンジンが始動するまでブレーキペダルを踏み続けてください。



運転するとき

## ■ 発進

- ① ブレーキペダルを右足で踏んだままにします。

### 警告

セレクトレバーは確実にブレーキペダルを踏んで操作してください。アクセルペダルを踏んだまま操作すると急発進して重大な事故につながるおそれがあります。

- ② セレクトレバーを**D**(前進)または**R**(後退)に入れます。  
 ③ セレクトレバーの位置を確認します。  
 ④ 駐車ブレーキを解除します。  
 ⑤ 右足をブレーキペダルからアクセルペダルに踏み換えゆっくりと加速します。

## ⚠ 注意

- エンジン始動直後やエアコン作動時、または停車時にハンドルを操作するとアイドリング回転が高くなり、クリーブ（車が動きだす）現象が強くなります。確実にブレーキペダルを踏んでください。

☆1-11ページ参照

- 後退するときには車の後方に人がいないこと、障害物がないことを確認してください。車内にブザーは鳴りますが、車外の人には聞こえません。

## 🏠 アドバイス

- ① 急な坂道での発進は、セレクトレバーの位置を確認し、駐車ブレーキをかけたままブレーキペダルを離し、アクセルペダルを踏みます。
- ② 車が動き出す感覚を確認しながら、駐車ブレーキレバーをゆっくりと解除して発進します。

## ■ 走行

### 通常の走行：

□で走行します。アクセルとブレーキの操作だけで自動的に変速され走行できます。

### 急加速：

アクセルペダルを深く踏み込みます。自動的にシフトダウンし加速します。(キックダウン)

☆1-11ページ参照

### 上り坂では：

アクセルペダルを深く踏み込みます。自動的にシフトダウンし加速します。

また、マニュアルモード装備車は、セレクトレバーをMにし、勾配に適したギヤを選択するとめらかな走行ができます。

☆3-63ページ参照

### 下り坂では：

エンジンプレーキを併用してください。マニュアルモード装備車は、セレクトレバーが□またはMで、パドルシフトの⊖側レバーを手前に引くとシフトダウンします。

☆3-63ページ参照

Lレンジ装備車は、セレクトレバーを□にするとシフトダウンします。

### 急な下り坂では：

マニュアルモード装備車は、パドルシフトの⊖側レバーを手前に引いて2速または1速に入れると、さらに強いエンジンプレーキがかかります。

☆3-63ページ参照

**警告**

走行中はセレクトレバーを **N** にしないでください。エンジンブレーキがまったく効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

**注意**

シフトダウンによる急激なエンジンブレーキは、道路状況や車間距離に注意して行ってください。

**アドバイス**

急発進、急加速など、急なアクセル操作時にはまれにエンジンから過渡的なノッキング音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

**■ 停車**

- ① **D** のままブレーキペダルを確実に踏みます。


**注意**

エンジン始動直後やエアコン作動時、または停車時にハンドルを操作するとアイドリング回転が高くなり、クリープ（車が動きだす）現象が強くなります。確実にブレーキペダルを踏んでください。

**アドバイス**

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、坂道で **P**、**N** 以外に入れた状態で、アクセルを吹かしながら車を停止させたりしないでください。トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。

- ② 必要に応じて駐車ブレーキをかけます。  
 ③ 長時間停車するときは **P** にします。  
 ④ 停車後、再発進するときは、セレクトレバーが **D** にあることを確認して発進します。

 **注意**


- 空吹かしをしないでください。急発進の原因となります。
- 停車中にセレクトレバーを動かすときはブレーキペダルを確実に踏んでください。
- 急な上り坂での停車は、クリーブ現象で前に進もうとする力よりも、後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。ブレーキを踏み込み、確実に駐車ブレーキを引いてください。

☆3-51ページ参照

 **アドバイス**

### <アイドリングストップ装備車以外>


Nコントロール機能が装備されています。


- [S] モードスイッチを押していないとき、車が完全に停止した後、セレクトレバーが  のままアイドリング状態でブレーキペダルを踏んでいると、ギヤがニュートラル状態になります。
- 再発進時はブレーキペダルから足を離してギヤがつながるまで若干時間(約1秒)がかかります。急な上り坂での再発進時は、ヒルスタートアシスト機能をONにすることをお奨めします。


☆5-31ページ参照

## ■ 駐車


- ① 車を完全に止めます。



 **注意**

車が完全に止まらないうちにセレクトレバーを  に入れないでください。トランスミッション損傷の原因となります。

- ② ブレーキペダルを踏んだままの状態ですべての駐車ブレーキレバーを引き、駐車ブレーキが確実にかかっていることを確認します。
- ③ セレクトレバーを  に入れます。
- ④ エンジンを止めます。

☆1-23ページ参照

 **注意**

車から離れるときは、必ずセレクトレバーを  に入れ、エンジンを止めてください。 以外でエンジンを止め、車を放置するとバッテリー上がりの原因となります。

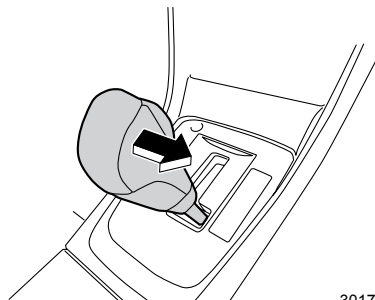
## マニュアルモード

### ■ マニュアルモードの使いかた

セレクトレバーを[D]から[M]に動かすとマニュアルモードになります。

セレクトレバーを[M]にすると、Info-ECO（インフォ・エコ）表示灯は消灯します。

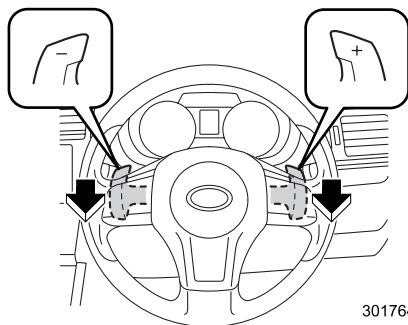
☆3-32ページ参照



301763

### ■ シフト操作

パドルシフト右側のレバーが⊕（アップ）になり、左側のレバーが⊖（ダウン）になります。1段上のギヤに変速するときは⊕のレバーを手前に引きます。1段下のギヤに変速するときは⊖のレバーを手前に引きます。



301764

運転するとき

### アドバイス

- シフトダウン不可能な車速（シフトダウンすることによりエンジンの回転がレッドゾーン付近になる場合）でシフトダウン操作をした場合、“ピピ”とブザーが鳴り、運転者にシフトダウンできないことを知らせます。
- 低過ぎる車速でシフトアップを行った場合、変速しません。
- 下り坂ではエンジンブレーキを併用することをお奨めします。

☆1-20ページ参照

### ■ マニュアルモードの解除

マニュアルモードを解除するときは、セレクトレバーを[M]から[D]の位置に移動させます。

## ■Dレンジパドルシフトマニュアル操作機能

走行中、**D**のままパドルシフトで変速すると自動変速モードから一時的にマニュアルモードに切り替わり、シフトポジション表示灯にギヤ位置が表示されます。その後しばらく走行すると通常の自動変速モード（**D**）に復帰します。下り坂やカーブの手前など、一時的にエンジンブレーキが必要なときに有効です。

### ⚠ 注意

パドルシフトのレバーにアクセサリなど物をかけないでください。アクセサリなどをかけるとレバーが不意に動き、シフト操作をするおそれがあります。

### 🏠 アドバイス

操作時の走行状況により、自動変速モードへの復帰時間が異なります。

## ■滑りやすい路面での発進（2速発進）

雪道など滑りやすい路面での発進は、マニュアルモードで2速を選択することにより、安全で容易に行えます。

ブレーキを踏んだまま、パドルシフトの $\oplus$ 側のレバーを動かしギヤを2速にします。このときシフトポジション表示灯は2速を表示します。

### 🏠 アドバイス

2速発進を選択すると、2速で固定されたままになります。変速したい場合は、パドルシフトを $\oplus$ または $\ominus$ に操作してください。セレクトレバーを**D**にすると2速固定は解除され、自動変速モードに戻ります。

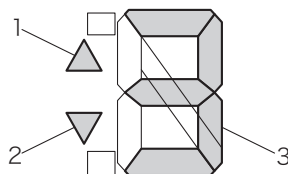
## ■シフトポジション表示灯

マニュアルモードが選択されるとギヤ位置を表示します。

シフトアップが可能な場合は数字の横に“▲”、シフトダウンが可能な場合は数字の横に“▼”が表示されます。

シフトアップ、シフトダウン可能表示灯が消灯している状態ではシフトアップ・ダウンはできません。

- シフトアップ可能表示灯 (1)
- シフトダウン可能表示灯 (2)
- 変速ギヤ表示 (3)



302361

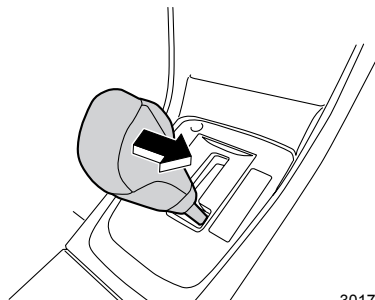


## Lレンジ

セレクトレバーを **D** から **L** に動かすとLレンジになります。

下り坂やカーブの手前など、エンジンブレーキが必要なときに使用します。

レバーを **D** に移動すると、Lレンジは解除されます。



301763

### 警告

滑りやすい路面ではLレンジにしないでください。Lレンジにしてエンジンブレーキをかけた場合、タイヤがスリップして重大な事故につながるおそれがあります。

運転するとき

## [S]モード

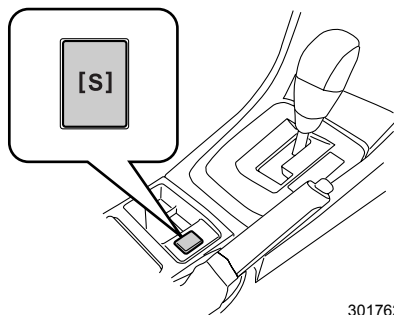
山間部での走行または、高速道路の合流および追い越し加速時に適した走行モードです。

[S]モードにすると、変速位置がエンジンの高回転側に設定されます。

[S]モードスイッチを押すと[S]モードになり、メーター内の[S]モード表示灯が点灯し、同時にInfo-ECO表示灯が消灯します。

☆3-32ページ参照

[S]モードスイッチを再度押すと[S]モード表示灯は消灯し、同時にInfo-ECO表示灯が点灯します。

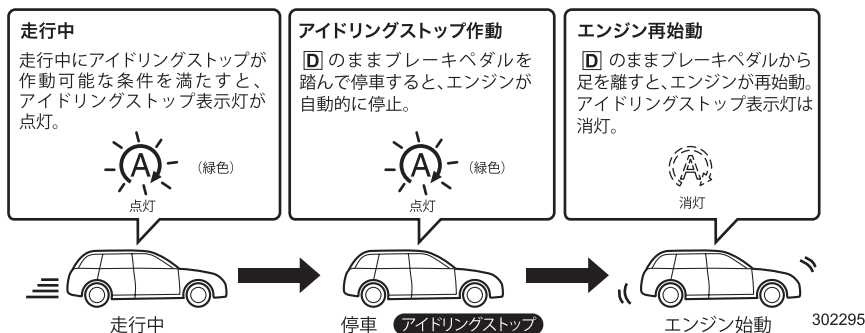


301762

# アイドリングストップ

## アイドリングストップ

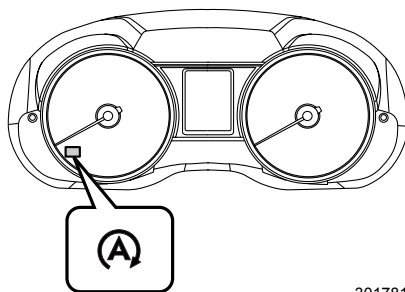
アイドリングストップとは、エンジン暖機後に運転中の信号待ちや渋滞などで車両が停止しているとき、燃費向上・排ガスの低減・アイドリング騒音低下のため、ブレーキ操作によってエンジンを自動停止させる機能です。また、ブレーキの解除によってエンジンを自動再始動させます。



エンジン始動後、走行せずにアイドリングを続けた場合、アイドリングストップは作動しません。また、停車中にアイドリングストップ・再始動を繰り返すこともありません。アイドリングストップは短時間のアイドリング時にエンジンを自動で停止・再始動させる機能です。長時間の駐車時はエンジンスイッチをOFFにしてください。

### ■アイドリングストップの作動

セレクトレバーがDで走行中、アイドリングストップが作動する条件を満たすと、メーター内のアイドリングストップ表示灯（緑色）が点灯します。



ブレーキペダルを踏んで停車すると、アイドリングストップが作動し、エンジンが停止します。エンジン停止中、アイドリングストップ表示灯は点灯し続けます。

Dのままブレーキペダルから足を離すと自動でエンジンが再始動し、アイドリングストップ表示灯が消灯します。走行中に再度アイドリングストップする条件を満たすと、アイドリングストップ表示灯が点灯します。

## ●アイドリングストップの作動条件

次の場合、アイドリングストップは作動可能になります。

- エンジンが十分に暖機されている
- 全てのドア（リヤゲートを含む）が閉まっている
- 運転席シートベルトを着用している
- デフロスタースイッチがOFF
- リヤウインドウデフォグスイッチがOFF
- ハザードランプスイッチがOFF
- 方向指示器レバーを操作していない※

※ カスタマイズの設定により作動条件は異なります。

☆1-2ページ参照

停車後、次の条件を満たすとアイドリングストップが作動します。

- ハンドルが直進状態のとき
- ハンドルを操作していない



### アドバイス

- 次の場合は停車後、アイドリングストップが作動しないことがあります。
  - － 急な坂道で停車したとき
  - － 急ブレーキをかけて停止したとき
  - － ブレーキブースターの負圧が充分でないとき
- 停車時、アイドリングストップが作動せずにアイドリングストップ表示灯が消灯したときは、ブレーキペダルの踏み込みが弱い場合があります。ブレーキペダルをもう少し強く踏んでください。
- 次の場合、アイドリングストップするまで時間がかかることがあります。
  - － 車を長期間使用しなかった場合などにより、バッテリーが放電したとき
  - － 外気温が高いとき、または低いとき
  - － バッテリー交換などにより、バッテリー端子を再接続したとき

## ●アイドリングストップが作動しない条件

次のいずれかの場合、アイドリングストップは作動しません。

- アイドリングストップ警告灯/アイドリングストップOFF表示灯（黄色）が点灯または点滅している
- エンジン警告灯が点灯している
- ボンネットが開いている
- 標高約1500m以上のとき
- 外気温が約-10℃以下のとき
- トランスミッションフルードの油温が低いまたは、高いとき
- バッテリー状態が良好でない
- エアコン使用時、エアコンの設定温度と車内の温度の差が大きいとき



### アドバイス

エンジン警告灯など、メーター内の警告灯が点灯・点滅している場合、アイドリングストップが作動しないことがあります。

## ●アイドリングストップの自動解除

次の操作を行うとアイドリングストップの作動が自動的に解除され、ブレーキペダルから足を離さなくても、エンジンが再始動します。

- 坂道でブレーキをゆるめ、車両が動きだしたとき
- ブレーキペダルをすばやく踏み増したとき
- アクセルペダルを踏んだとき
- セレクトレバーを[R]にしたとき
- ハンドル操作をしたとき
- デフロスタースイッチをONにしたとき
- リヤウインドウデフォグスイッチをONにしたとき
- ハザードランプスイッチをONにしたとき
- 方向指示器を操作したとき※

※ カスタマイズの設定により作動条件は異なります。

☆1-2ページ参照

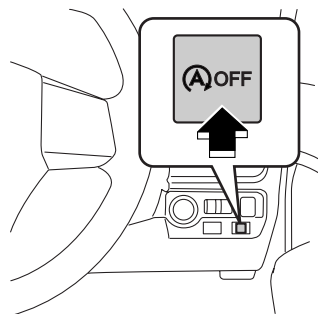
### 🏠 アドバイス

- アイドリングストップ中は、ブレーキペダルが硬く感じる場合がありますが、異常ではありません。
- アイドリングストップ中、次の状態になるとブレーキペダルから足を離さなくてもエンジンが再始動します。
  - － 車内の温度がエアコンの設定温度から大きく外れたとき
  - － バッテリーの放電が進んだとき
  - － ブレーキブースターの負圧が低下したとき
- 次のときはエンジン停止時間が短くなる場合があります。
  - － 外気温が高いとき、または低いとき（エアコンが設定温度を維持できなくなるため）
  - － 電装品などの消費電力が多いとき
- アイドリングストップからエンジンが再始動すると、電源ソケットの電圧が低下するので、使用している電装品によっては電装品の電源が一時的にOFFになることがあります。

### ■ アイドリングストップの作動をOFFにするとき

アイドリングストップOFFスイッチを押すとアイドリングストップが作動停止状態となり、メーター内のアイドリングストップOFF表示灯（黄色）が点灯します。もう一度スイッチを押すとアイドリングストップが作動可能な状態になり、アイドリングストップOFF表示灯が消灯します。

アイドリングストップ中にスイッチを押すと、エンジンが再始動します。



301783

### 🏠 アドバイス

- アイドリングストップ作動停止状態でエンジンスイッチをOFFした場合、エンジンを再始動するとアイドリングストップは作動可能な状態に戻ります。
- 車から離れるときはエンジンスイッチをOFFにしてください。バッテリー上がりの原因となります。

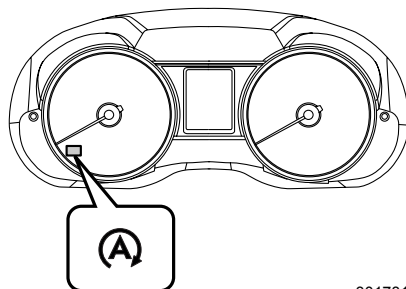
## ■アイドリングストップ表示灯（緑色）

エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。

### ▼点灯するとき

アイドリングストップの作動条件を満たしたとき、またはアイドリングストップ中に点灯します。

エンジンが再始動すると消灯します。



301781

## ■アイドリングストップ警告灯 / アイドリングストップOFF表示灯（黄色）

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンを始動すると消灯します。

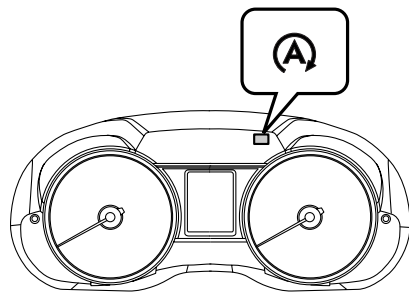
### ●アイドリングストップ警告灯

アイドリングストップシステムに異常があるとき、点滅します。すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

また、システムの異常を検知すると、マルチファンクションディスプレイに割り込み画面が表示されます。

### ●アイドリングストップOFF表示灯

アイドリングストップOFFスイッチを押してシステムを解除すると、点灯します。



302368

### ⚠ 注意

エンジン始動後にアイドリングストップ警告灯/アイドリングストップOFF表示灯が消灯しないまたは、アイドリングストップOFFスイッチを押しても点灯・消灯が切り替わらない場合は、すみやかにスバル販売店で点検を受けてください。

## ■アイドリングストップ警告ブザー

### ●ブザー（ピー、ピー）が鳴るとき

アイドリングストップ中に運転席以外のドアを開けるとブザーが鳴り、アイドリングストップ中であることを知らせます。ドアを閉めると停止します。

### ●ブザー（ピーー）が鳴るとき

アイドリングストップ中に次の操作を行うと安全を確保するため通常のエンジン停止状態になり、ブザーが鳴ります（メーター内の警告灯も点灯します）。この場合、セレクトレバーを[P]にして周囲の安全を確認してから通常の操作でエンジンを始動するか、エンジンスイッチをLOCK（OFF）にしてください。

- ボンネットを開けたとき
- 運転者が車両から降りようとしたとき（運転席シートベルトを外したり運転席ドアをあけたとき）
- 運転席以外のドアを開けたまま、放置したりブレーキペダルから足を離れたとき

## ■その他の機能

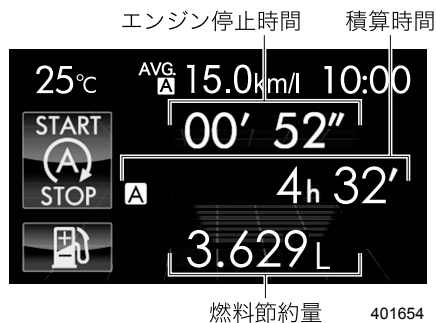
### ●アイドリングストップ表示

ハンドルの▲/▼スイッチを操作して画面を切り替えます。

マルチファンクションディスプレイに、アイドリングストップ作動によるエンジン停止時間と、トリップメーターをリセットしてからのアイドリングストップした積算時間、節約した燃料の目安を表示します。

トリップA、トリップBそれぞれについて表示します。

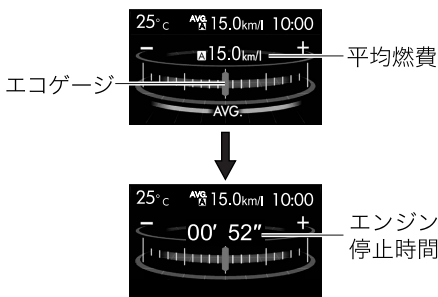
☆3-30ページ参照



運転するとき

### 🏠 アドバイス

エコゲージを表示しているとき、アイドリングストップが作動すると、平均燃費表示がアイドリングストップによるエンジン停止時間の表示に切り替わります。



302369

## ■バッテリー

アイドリングストップ装備車は、高性能な専用バッテリーを使用しています。バッテリーを交換するときは、スバル純正のアイドリングストップ専用バッテリーに交換してください。詳しくはスバル販売店にご相談ください。

☆9-2ページ参照



### 注意

- 専用バッテリー以外を使用すると、バッテリーの早期劣化やアイドリングストップが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- バッテリーの端子から直接電装品の電源をとらないでください。アイドリングストップが正常に作動しなくなります。



### アドバイス

バッテリーは定期的に充電することで、長持ちさせることができます。詳しくはスバル販売店にご相談ください。



# クルーズコントロール

## クルーズコントロール



クルーズコントロール（自動定速走行装置）は、アクセルペダルを踏まなくても約 40 ～ 100 km/hの任意の速度で車速を一定に保つことができる機能です。

### 警告


次のような道路では危険ですので使用しないでください。

- 交通量が多く、車間距離が充分に取れない道路
- 急な下り坂や急カーブが多い道路
- 凍結、積雪などで滑りやすい道路
- けん引のとき

### 注意

もし走行中にクルーズコントロール表示灯“”の点滅とエンジン警告灯“”の点灯が同時に発生したときは、直ちに車を安全な場所に停めてスバル販売店に連絡し、点検を受けてください。

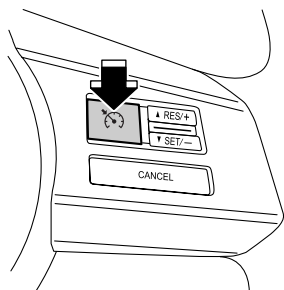
### アドバイス

- 上り坂や下り坂では勾配、積載量により、一定車速を保てない場合があります。
- （クルーズ）スイッチを押してもクルーズコントロール表示灯が点灯しない場合は、システムの異常が考えられます。スバル販売店に連絡し、点検を受けてください。

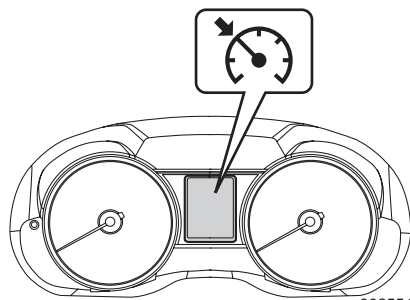
## ■CRUISEスイッチ

### ▼作動するとき

🚗 (クルーズ) スイッチを押すとクルーズコントロールが作動可能になります。メーター表示部に “🚗” が表示されます。



302508



302554

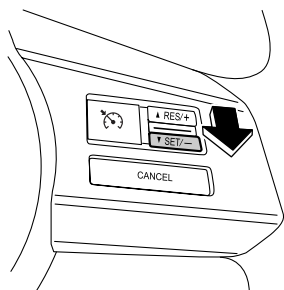
### ▼停止するとき

スイッチをもう一度押します。(表示灯消灯)

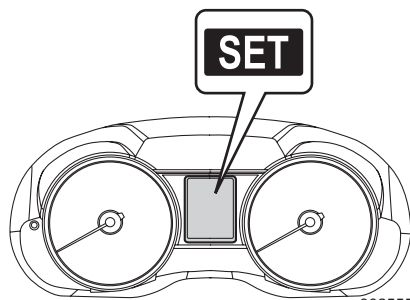
エンジンスイッチをOFF (LOCK) またはACCにすると、クルーズコントロールの作動は自動的に停止します。

## ■速度をセットするとき

- ① 🚗 (クルーズ) スイッチを押してクルーズコントロールを作動可能にします。
- ② アクセルペダルを加減して希望する速度にします。
- ③ 希望する速度になったときRES/SETスイッチをSET/-側に押します。スイッチを押したときの速度がセット車速となり、定速走行します。  
自動定速走行になると、メーター表示部に “SET” が表示されます。



302509



302555

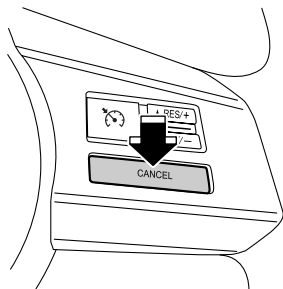
クルーズコントロールをセットし、メーター表示部に “SET” が表示されると、Info-ECO (インフォ・エコ) 表示灯は消灯します。

☆3-32ページ参照

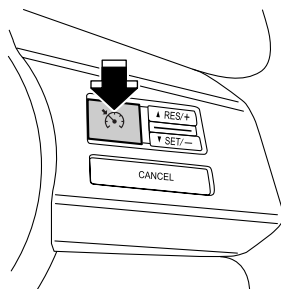
## ■一時解除

次の場合は自動定速走行が一時的に解除されます。メーター内のクルーズコントロール車速セット表示灯も消灯します。

- CANCELスイッチを押したとき
- ブレーキペダルを踏んだとき



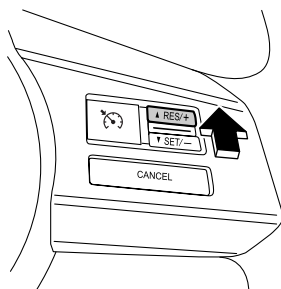
302556



302508

## ■一時解除の復帰（セット車速の再セット）

前回のセット車速がメモリーされているとき、その車速に再びセットする場合は、車速30km/h以上で走行しているときにRES/SETスイッチをRES/+側に押します。（メーター表示部が再びセット状態の表示になります）



302557

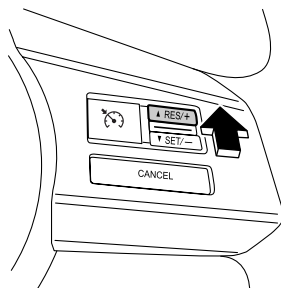
### 🏠 アドバイス

- 次の場合はメモリーされているセット車速が消去されます。
  - －クルーズメインOFFしたとき
  - －VDC、TCSが作動したとき
  - －速度が30km/h以下になったとき
- 40km/h～100km/hの範囲で設定された速度で定速走行します。
- セット車速がメモリーされていない場合 RES/+ スイッチでは設定できません。
- RES/+ スイッチで設定した場合は、メモリーされているセット車速に設定されます。

## ■セット車速を上げるとき

### ●RES/SETスイッチによる方法

- RES/+側に1回ずつ押す  
押す毎にセット車速が1km/h ずつ上がります。
- RES/+側に押し続ける  
長く押すと、押している間だけ加速します。スイッチを離れたときの車速にセットされます。



302557

### ●アクセルペダルによる方法

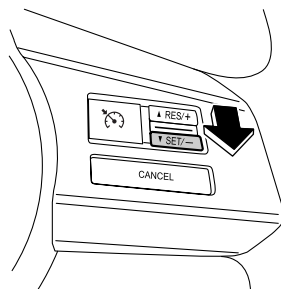
アクセルペダルを踏み、速度を上げます。

希望の速度になったらRES/SETスイッチをSET/-側に押します。スイッチを離れたときの車速で再セットされます。

## ■セット車速を下げるとき

### ●RES/SETスイッチによる方法

- SET/-側に1回ずつ押す  
押す毎にセット車速が1km/h ずつ下がります。
- SET/-側に押し続ける  
長く押すと、押している間だけ減速します。スイッチを離れたときの車速にセットされます。



302509

### ●ブレーキペダルによる方法

ブレーキペダルを踏み、速度を下げます。(クルーズコントロールが解除されます。)

希望の速度になったらRES/SETスイッチをSET/-側に押します。

## ■一時的に加速したいとき

一時的に加速したいときは、アクセルペダルを踏みます。  
アクセルペダルを離すと、セット車速まで戻ります。

## ■一時的に減速したいとき

減速するときは、ブレーキペダルを踏みます。このとき、クルーズコントロールは解除されます。



### アドバイス

下り坂ではマニュアルモードによるエンジンブレーキを併用してください。

# MEMO